

令和2年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

令和2年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 2020 年度総括報告（1 年を振り返って） | 1 |
| 2. 法人役員、評議員、運営協議会委員 | 6 |
| 3. 理事会開催状況 | 6 |
| 4. 評議員会開催状況 | 8 |
| 5. 運営協議会開催状況 | 8 |
| 6. 内部監査結果 | 8 |
| 7. 法人借入金償還状況 | 9 |
| 8. 職員人事異動状況 | 9 |
| 9. 職員配置状況 | 9 |
| 10. 施設利用者状況 | 10 |
| 11. 補助金による助成物件 | 11 |
| <総務部> (1) 庶務・経理係 | 13 |
| (2) 固定資産管理係 | 14 |
| <人事部> (1) 人材育成係 | 16 |
| (2) 安全衛生係 | 18 |
| (3) 交通安全係 | 19 |
| <その他の係> (1) 防災係 | 20 |
| (2) 広報係 | 23 |
| (3) 地域福祉係 | 24 |
| (4) 支援向上委員会 | 25 |
| (5) 公益的取り組み | 26 |

1. 令和2年度総括報告（1年を振り返って）

（1）運営全般

「みんなの恵の園に（みんなのために走り、汗を流し、祈る）」を年間スローガンとし、積み残した課題を遂行することとしていたが、今年度もすべてを実行することができなかった。

コロナ禍の影響で、全体行事が実施できなかつたり、外出を控えたり、ご家族の面会や帰省等も制限せざるを得ない状況が続いた。各施設の所属団体の会議や研修等も参加や実施ができなかった。しかしながら、法人内での感染者は出なかった。

特別養護老人ホームカナンが10月の開設予定であったが、工事の遅れや人材確保が間に合わず、2021年度の開所となってしまった。

（2）福祉サービス事業の「ニーズへの対応」の推進

①特別養護老人ホーム「カナン」の増床開設の令和2年10月1日に向け準備を進め、また、冬場にかけての入居となるため、安全面、健康面や精神面に配慮し受け入れていく。

- ・工事の遅れや人材確保が進まず、本年度中の開所はできなかったが、令和3年4月1日開所に向けて準備を進めた。

②介護予防の取り組みを進めていく。

- ・コロナ禍のため、昨年度のように、施設に来ていただいていた対応はできなかったが、地域の皆様に向けての「リーフレット（シリーズにした）」を作成した。地区の回覧も中止となっていたが、民生委員の方々に配布し、受付窓口にも設置をした。

③様々な課題を抱えている方（特に就業困難、ひきこもり等）への支援を検討していく。

- ・明保野地区の民生委員の方々から情報収集を行なったが、地区の中には該当者はいないとのことであった。地区以外の場所での情報収集まで進めることはできなかった。

（3）利用者サービスの質と生活環境・利用環境等の向上を目指す

①現行のサービス（法人全体の行事等も含む）の自己点検を実施しさらなる質の向上をはかっていく。

- ・コロナ禍のため、全体行事等、これまで通常に実施できたことが、ほとんど実行できなかったため、自己点検等実施することができなかった。

②自然災害の備えとして、利用者・職員の安全確保や物的被害の軽減のための対策を「事業継続（BCP）」の視点で進める。また、実効性のある訓練を実施していく（法人内だけでなく、地域も巻き込む）

- ・BCP委員会を設置し、外部からも助言をいただきながら、マニュアルを策定することができた。また、コロナ関連のマニュアルの策定も行なえた。

(4)「人材確保（採用・定着・育成）」を更に強化しながら人材マネジメントを推進する

- ①事業の継続性を重視し、業務マニュアルの見直しと活用を進めるとともに法人内の他部署、多様な職種、勤務形態の職員との標準化、共有化、連携を深めていく(ロボットや ICT 等の活用も含む)。
 - ・一部施設で、ICT の導入を検討し、補助金を申請して購入等を進めることができたが、ほとんどの施設では、検討までには至らなかった。
- ②「成長できる職場(キャリアパスの明確化含む)」の仕組みづくりを進めていく。
 - ・取り組むことができなかった。
- ③採用方法や採用ターゲットの多様化、拡大化をはかるとともに、人事労務管理(就労形態・給与制度・働き方・育成等)の確認と見直しを行なう。
 - ・採用について、施設車両に「職員募集」のチラシを貼ったり、FM群馬で求人宣伝を行なった。応募者の中には、チラシを見たり、FM ラジオを聞いた方もいた。
 - ・人事労務管理の見直し等は、会議での検討を開始したが、結果まで出すことができなかった。
- ④「労働災害防止策(メンタルヘルス・腰痛防止等)」や「パワハラ防止対策の法制化」に伴い防止策を講じ、働きやすい職場づくりを推進していく。
 - ・全職員(役職、一般職員、契約職員)にメンタルヘルスのアンケートを実施し、全職員に対し顧問弁護士に研修を行なっていただいた。
- ⑤技能実習生のみならず、様々な外国人労働者の雇用も進めていく。
 - ・技能実習生については、コロナ禍のため、候補はあがっていたが、入国できず進めることができなかった。
 - ・監理団体を通して、国内に在留している方々へのアプローチに取り掛かった。

(5)広報機能の更なる強化(継続)

- ①SNS 等様々な発信の方法がある中で、それらを吟味し、ホームページや広報誌等をリニューアルしていく。
 - ・施設紹介の設備や利用料の詳細を掲載し情報量を増やした。また、インスタグラムの活用は開始したが、ホームページのリニューアルは行なえなかった。
- ②説明義務をはたしていくと共に認知力の向上により、着実に支援者、協力者を得ながら事業を進めていく。
 - ・SNS での発信手段が増えたことにより、一般の方や他法人への情報発信をすることができたが、そのことよっての変化等までは確認することはできなかった。
- ③人材確保の一環ともしていく。
 - ・SNS を利用し定期的に情報を発信した。
 - ・ホームページで恵の園の状況を確認し、採用見学への来園があった。
- ④福祉共生社会の推進のためにも、様々な福祉に関する情報の発信や問題提起を行なっていく。

- ・法人の取り組みについて、ホームページ以外で SNS を活用し発信した。
- ・福祉の啓発誌「魁」を発行し、福祉、教育、医療等の最新情報の発信や問題提起を行なった。

⑤全国経営協のホームページ等ともリンクさせながら「社会福祉法人」の正しい認知や誤解等の払しょく、イメージアップをはかっていく。

- ・広報担当者への説明のみで、全体に広げることができなかった。

(6) 中長期計画の策定（継続）

①前年度行なった、全国経営者協議会が作成した「Web 経営診断」の結果や「アクションプラン」などのツールを活用し、中長期計画を策定（資金計画等も含む）していく。

- ・取り組めなかった。

②安定的な経営を確保するため、コスト意識の強化（経費節減も含む）と収益事業オリーブを中心に収益の向上を進める。

- ・コスト意識を進めるにあたって、光熱費等の削減を検討し、チラシ作成までは行なったが、実際の実行するまでには至らなかった。

(7) 各福祉サービスの推進

①「グレイスホーム」は、入浴機器等の導入では脱衣場への移動に昇降機を、ICT では ND ソフト音声入力機器等のデモを試行、検討したが、今年度の導入には至らなかった。

新型コロナウイルスの影響で、利用者の外出支援等に制限を掛けざるを得なくなり、施設単位での行事を増やし余暇活動の充実を進めた。

②「あけぼのホーム」は、コロナ禍で、外出や全体行事が実施できなかったため、館内でできるレクリエーションやクラブ活動を増やした。また、面会も制限していたためオンライン面会を実施した。

③「めぐみの里」は、エレベーター、空調、2、3階の亚克力パネル撤去等の改修工事を実施した。また、ICT 導入モデル事業による補助金を申請し、「ipad」を 2 台購入（ソフトウェア込み）した。

④「カナン」は、増床に向けて備品等をそろえ環境整備を行なった。また、コロナ禍の中全く行なえていなかった面会を、オンライン面会として再開した。利用率は 97%。短期入所は、感染予防のため年間 4 か月ほど受け入れ停止を行なった。利用率は 66.6%。

⑤「マイーム」は、年度当初からの欠員や利用者の入れ替わりにより減収となった。また、クロスホームスプリンクラー配管の破裂で約 1 か月間、利用者が若杉寮客間で生活をした。

⑥「さつき」は、昨年 2 名の方の看取り介護を実施した。また、身体機能維持のため軽運動の定着を図ると同時に、歩行に課題のある方の居室の環境整備を行なった。また、一人ひとりの過去のデータからバイタルの平均値を算出し異常の早期発見に努め、身体的な細かい変化も見逃さないよう記録を徹底した。

⑦「ベテル」は、新型コロナウイルスの影響により受注が落ち込み、売上が前年度比 20%減少。平均工賃は前年度の 23,029 円から 2,112 円減額の 20,917 円となり、目

標である 22,000 円を達成することができなかつた。また感染防止のため 4/27～5/6 まで通所を自粛し、在宅での作業支援を行なつた。

- ⑧「エステル」は、年度初めよりコロナ感染症の関係や体調不良や怪我、精神不安を理由に長期に欠席する利用者が出た。また、利用者 2 名の退所があつた。就労 B では、コロナの影響で売上は昨年比 14.5%減となり、平均工賃も 13,453 円と昨年より 4%減となつた。生活介護でも、コロナの影響で毎月の外出等は全て中止し、施設内で楽しめるレクリエーションを企画した。
- ⑨「シャローム」は、新型コロナウイルスの影響により野菜の出荷が停止になるなど、売上が前年度比 24%減少。平均工賃は前年度の 26,180 円から 802 円減額の 25,378 円となり、目標である 26,000 円を達成することができなかつた。また感染防止のため 4/27～5/6 まで通所を自粛し、在宅での作業支援を行なつた。
- ⑩「ゆうかり」は、5 月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、利用の自粛をお願いし、一時利用率が減少したが、11 月には 70%まで回復することができた。しかし、冬場に向けて、入院や施設入所などが続き、3 月には 60%台まで落ち込んだ。また、感染予防のために換気・消毒を徹底し、館内で楽しく過ごしていただけるよう、新規にレクリエーション等を実施した。
- ⑪「ぶどうの木」は、新型コロナウイルスの影響により年度前半はご自宅や施設等へ訪問することが難しく、サービス担当者会議や利用状況の確認を電話対応にて行なつた。また、ご家族の高齢化が進み、短期入所や将来の生活の場についての相談が昨年度よりも 11 件増加となつた。
- ⑫「シオンの丘」は、複数職員体制を視野に入れながら事業展開を図つたが、今年度も人員を確保できなかつた。また、コロナ禍により様々な制約の中ではあつたが契約数を減少させずに対応できた。
- ⑬「ポパイ」は、貸与は、コロナ禍のため直接営業する機会は減つたが、前期は利用者数が 58 名（昨年度から 9 名増える）、後期は入院やご逝去が続き 3 月には 49 名となり目標契約者数を達成できなかつた。しかし、貸与・販売ともに売り上げは伸び、年間目標 700 万円を達成した。
- ⑭「オリーブ」は、売上額が前年度比約 180 万円増額であつたが、一部主力商品の仕入価格が新型コロナウイルスの影響で大幅に高騰し支出も約 230 万円増額となり、法人への繰り入れは前年度の 150 万円から 50 万円減額の 100 万円であつた。
- ⑮福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行（2 回）を行ない、福祉の啓蒙を行なつた。

（8）施設整備関係

主に次のような施設整備を行なつた。

- ①「グレイスホーム」は、福祉車両 1 台購入（1,999,870 円、ハイゼット）。
- ②「あけぼのホーム」は、身障厨房ガス炊飯器購入（449,300 円、ベテル・グレイスホームと按分）、連絡通路塗装（605,000 円、グレイスホームと按分）、車両ハイゼット（車いす仕様、1,940,830 円）、手指消毒器（577,500 円、コロナ補助金）。
- ③「めぐみの里」は、エレベーター改修工事（14,080,000 円）、空調改修工事（22,850,000 円、経済産業省の補助金を申請 3,086,000 円）、2、3 階の亚克力パネル等撤去（3,000,000 円）、厨房冷蔵庫交換（313,225 円）、浄化槽柵補修等工事（500,000 円）、防火戸改修（418,000 円）、館内整備（385,000 円）、建具修繕（352,000 円）、各所修繕（385,000 円）。

- ④ 「カナン」は、空気清浄機（8台）・非接触体温計・衛生用品等（1,524,960円）、短期入所で、空気清浄機（6台、407,999円、コロナ補助金）
- ⑤ 「ベテル」は、作業用テーブル・空間噴霧器等（568,150円）
- ⑥ 「エステル」は、空間除菌加湿器（16台）・パーテーション（6台）（758,670円 コロナ補助金）
- ⑦ 「シャローム」は、アクリルボード・消毒液等の消耗品等（564,449円、コロナ補助金）
- ⑧ 「ゆうかり」は、空気清浄機ジアイーノ（3台）・テーブル（2台）・除菌脱臭機（3台）・手指消毒器（2台）・衛生用品等（1,152,090円、コロナ補助金）
- ⑨ 「マイーム」は、空気清浄加湿器（2台）・手指消毒器等（400,829円、コロナ補助金）
- ⑩ 「さつき」は、空気清浄機（5台）アクリルボード等（328,228円、コロナ補助金）
- ⑪ 「ぶどうの木」は、一時滞在場所の整備（1,793,000円、内200,000円はコロナ補助金）
- ⑫ 「シオンの丘」は、空気清浄機2台・手指消毒（159,060円、コロナ補助金）

（9）借入金の償還

・グレイスホームの大型改修工事（福祉医療機構）、ダビデホーム建設（北群馬信用金庫）、クロスホーム建設（群馬銀行）、特別養護老人ホームカナン建設（群馬銀行・北群馬信用金庫）、エステル建築（群馬銀行）の各借入金は、令和2年度分の償還を予定通り行なった。

*令和2年の特別養護老人ホームカナン増床の借入金については、3年据え置きのため、利子のみ支払いを行なっている。

2. 法人役員、評議員、運営協議会委員

(1) 役員、評議員、運営協議会委員（令和2年4月1日現在）

| 役職 | 定数 | 氏名 |
|---------|----|--|
| 理事 | 7 | 山田雅人（理事長）、池田澄子、永田智彦、柴田敏樹 内山由紀、真部暁、麻田紀之 |
| 監事 | 2 | 澤口俊行、飯塚秀利 |
| 評議員 | 8 | 木村睦子、細井雅生、星名建市、井口千春、賤津進介、櫻井実、 島田幸治、山崎友丈 |
| 運営協議会委員 | 5 | 川原武男、新井正喜、永井克俊、内海文雄、中澤悦二 |

(2) 就任・退任役員

①就任役員

| | 役職名 | 氏名 | 就任年月日 | 備考 |
|--|-----|----|-------|----|
| | なし | | | |

②退任役員

| | 役職名 | 氏名 | 退任年月日 | 備考 |
|--|-----|----|-------|----|
| | なし | | | |

(3) 就任運営協議会委員

①就任委員

| | 役職名 | 氏名 | 就任年月日 | 備考 |
|----|---------|-------|----------|----|
| 就任 | 運営協議会委員 | 永井 克俊 | 令和2年4月1日 | |

（任期：令和3年3月31日まで）

②退任委員

| | 役職名 | 氏名 | 退任年月日 | 備考 |
|----|---------|------|-----------|----|
| 退任 | 運営協議会委員 | 藤井 博 | 令和2年3月31日 | |

3. 理事会開催状況

| 開催日 | 審議内容 | 審議結果 |
|--------------------|---|----------------|
| 第246回 令和2年5月27日 | 第1号議案 2019年度 事業報告（案） 第2号議案 2019年度 会計収支決算（案） 監事監査報告 第3号議案 社会福祉充実残高及び社会福祉充実計画に ついて（案） | 可決 可決 可決 |

| | | |
|---------------------|---|---|
| | <p>第4号議案 理事長報酬（案）</p> <p>第5号議案 出納係変更（案）</p> <p>第6号議案 諸規程の一部変更（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則 ・契約職員就業規則 <p>第7号議案 令和2年度介護職員初任者研修の中止について（案）</p> <p>第8号議案 めぐみの里空調改修工事の実施について（案）</p> <p>第9号議案 めぐみの里空調改修工事の指名業者選定について（案）</p> <p>第10号議案 めぐみの里エレベーター改修工事の業者選定について（案）</p> <p>第11号議案 第125回評議員会の開催について（案）</p> | <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> |
| 第247回 令和2年6月15日 | 第1号議案 めぐみの里空調改修工事業者の決定と契約の締結について（案） | 可決 |
| 第248回 令和2年8月12日 | <p>第1号議案 特別養護老人ホームカナン増築工事の引き渡し日及び事業開始時期の変更（案）</p> <p>第2号議案 令和2年度第1次会計収支補正予算（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めぐみの里 ・マイーム ・カナン <p>第3号議案 特別養護老人ホームカナン備品等購入にあたっての業者選択（案）</p> <p>第4号議案 第126回評議員会の開催について（案）</p> | <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> |
| 第249回 令和2年8月31日 | <p>第1号議案 特別養護老人ホームカナン ベット・機械浴槽・車椅子等の購入業者の決定及び契約の締結（案）</p> <p>第2号議案 特別養護老人ホームカナン 食堂テーブル椅子等の購入業者の決定及び契約の締結（案）</p> | <p>可決</p> <p>可決</p> |
| 第250回 令和2年9月25日 | 第1号議案 諸規程の一部変更（案） | 可決 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程 ・契約職員給与規程 | |
| 第251回 令和2年12月21日 | <p>第1号議案 諸規程の一部変更（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等に関する規程 <p>第2号議案 運営規程の一部変更（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナン（入所・短期入所） <p>第3号議案 出納係変更（案）</p> | <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> |
| 第252回 令和3年3月3日 | <p>第1号議案 令和2年度会計収支補正予算書（案）</p> <p>第2号議案 令和3年度総括会計責任者及び資金運用責任者、管理責任者・施設長、会計責任者出納係の任命（案）</p> <p>第3号議案 令和3年度事業計画（案）</p> <p>第4号議案 令和3年度会計収支予算（案）</p> | <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> |

| | | |
|--|--|----|
| | 第5号議案 定款の一部変更（案） | 可決 |
| | 第6号議案 諸規程の一部変更（案） ・職員就業規則 ・職員再雇用規則 ・契約職員就業規則 ・契約職員給与規程 | 可決 |
| | 第7号議案 運営規程の一部変更（案） ・カナン ・エステル | 可決 |
| | 第8号議案 カナン積立金取り崩しについて（案） | 可決 |
| | 第9号議案 令和3年度介護職員初任者研修開催について（案） | 可決 |
| | 第10号議案 第127回評議員会開催について（案） | 可決 |

4.評議員会開催状況

| 開催日 | 審議内容 | 審議結果 |
|--------------------|--|----------------------|
| 第125回 令和2年6月22日 | 第1号議案 2019年度会計収支決算（案） | 可決 |
| 第126回 令和2年8月31日 | 第1号議案 令和2年度第1次会計収支補正予算（案） ・めぐみの里 ・マイーム ・カナン | 可決 |
| 第127回 令和3年3月18日 | 第1号議案 令和2年度会計収支補正予算（案） 第2号議案 令和3年度事業計画（案） 第3号議案 令和3年度会計収支予算（案） 第4号議案 定款の一部変更（案） | 可決 可決 可決 可決 |

5.運営協議会開催状況

| 開催日 | 内容 |
|------------------|---|
| 第7回 令和2年7月10日 | ・意見交換 「新型コロナウイルスについて」 ・状況報告 ・今後の取り組み |

6. 内部監査結果

令和2年5月22日（金）に当法人の監事による2019年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

7. 法人借入金償還状況 ※元金のみ

(単位:千円)

| 借入先 | 当初借入額 | 償還済額 | 当期減 | 借入残額 | 備考 |
|------------|-----------|---------|--------|-----------|----------------------|
| 社会福祉・医療事業団 | 30,000 | 15,870 | 1,570 | 12,560 | グレイスホーム 建物改修工事借入金 |
| 北群馬信用金庫 | 36,800 | 27,900 | 3,600 | 5,300 | ダビデホーム 建設借入金 |
| 群馬銀行 | 45,000 | 27,945 | 4,860 | 12,195 | クロスホーム 建設借入金 |
| 群馬銀行 | 600,000 | 40,008 | 20,004 | 539,988 | カナン 建設借入金 |
| 北群馬信用金庫 | 500,000 | 16,680 | 16,680 | 466,640 | |
| 北群馬信用金庫 | 600,000 | 0 | 0 | 600,000 | |
| 群馬銀行 | 120,000 | 12,120 | 6,060 | 101,820 | エステル 建設借入金 |
| 計 | 1,931,800 | 140,523 | 52,774 | 1,738,503 | |

8. 職員人事異動状況 (令和2年度中) ※正職員のみ

| | 採用 | 退職 |
|----|-----|----|
| 人数 | 10名 | 7名 |

9. 職員配置状況 (令和3年3月31日現在)

| | グレイス ホーム | あけぼの ホーム | めぐみの 里 | ベテル | エステル | シャローム | マイーム | ぶどうの木 |
|------|-------------|-------------|-----------|-----|------|-------|------|-------|
| 正職員 | 11 | 20 | 25 | 5 | 6 | 2 | 1 | 2 |
| 契約職員 | 7 | 19 | 26 | 6 | 12 | 6 | 8 | 1 |
| 嘱託医等 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 派遣職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 19 | 42 | 53 | 12 | 19 | 9 | 9 | 3 |

| | カナン | さつき | ゆうかり | ポパイ | シオンの丘 | オリーブ | 合計 |
|------|-----|-----|------|-----|-------|------|-----|
| 正職員 | 20 | 3 | 5 | 1 | 1 | 0 | 102 |
| 契約職員 | 16 | 5 | 3 | 1 | 0 | 2 | 112 |
| 嘱託医等 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 派遣職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 39 | 8 | 8 | 2 | 1 | 2 | 226 |

※兼務職員は所属施設のみに計上しています。

10. 施設利用者状況（定員及び現員及び利用率）（令和3年3月31日現在）

定員及び現員

| | グレイスホーム | | あけぼのホーム | | めぐみの里 | | ベテル | | エステル | | | | シャローム | |
|------|---------|----|---------|----|-------|----|-----|----|------|----|------|----|-------|----|
| | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 就労継続 | | 生活介護 | | 定員 | 現員 |
| | | | | | | | | | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | | |
| 生活介護 | 30 | 29 | 50 | 48 | 80 | 78 | | | | | | | | |
| 入所支援 | 30 | 29 | 50 | 48 | 80 | 78 | | | | | | | | |
| 入所 | | | | | | | | | | | | | | |
| 通所 | | | | | | | 20 | 27 | 30 | 32 | 10 | 12 | 20 | 20 |
| 短期入所 | 1 | | 3 | | 空床 | | | | | | | | | |
| 日中一時 | | | | | 若干名 | | 1 | | 1 | | | | | |
| 計 | 31 | 29 | 53 | 48 | 80 | 78 | 20 | 27 | 30 | 32 | 10 | 12 | 20 | 20 |

利用率（％）

| | | | | | | | |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 生活介護 | 92.2 | 94.1 | 95.2 | | | | |
| 入所支援 | 92.1 | 94.1 | 94.9 | | | | |
| 通所 | | | | 108.3 | 84.0 | 83.0 | 86.7 |
| 短期入所 | 40.0 | 20.1 | 0 | | | | |
| 日中一時 | | | 0 | 0 | 0 | | |

定員及び現員

| | バルナバホーム | | さくらホーム | | ダビデホーム | | クロスホーム | | カナン | | さつき | | ゆうかり | |
|------|---------|----|--------|----|--------|----|--------|----|-----|----|-----|----|------|----|
| | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 |
| 生活介護 | | | | | | | | | | | | | | |
| 入所支援 | | | | | | | | | | | | | | |
| 入所 | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 6 | 7 | 7 | 40 | 37 | 9 | 9 | | |
| 通所 | | | | | | | | | | | | | 20 | |
| 短期入所 | | | | | | | | | 5 | 3 | | | | |
| 日中一時 | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 6 | 7 | 7 | 45 | 40 | 9 | 9 | 20 | |

利用率（％）

| | | | | | | | |
|------|------|-----|-----|------|------|------|------|
| 入所 | 93.9 | 100 | 100 | 95.9 | 92.9 | 94.5 | |
| 通所 | | | | | | | 61.0 |
| 短期入所 | | | | | 66.7 | | |
| 日中一時 | | | | | | | |

| | 合計 | |
|------|-----|-----|
| | 定員 | 現員 |
| 生活介護 | 160 | 155 |
| 入所支援 | 160 | 155 |
| 入所 | 71 | 68 |
| 通所 | 100 | 91 |
| 短期入所 | 9 | |
| 日中一時 | | |
| 計 | 340 | 314 |

| | シオンの丘 | |
|----|-------|-------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 人数 | 61 | 47 |

※生活介護と入所支援の利用重複者と、日中一時の定員と現員数は合計には加算していません。
 ※ゆかりの現員数は、契約者数となり、合計には含まれません。

11. 補助金による助成物件

(単位：円)

| 助成団体 | 補助対象施設 | 助成物件 | 総額 | 助成金額 |
|------------|---------|-------------------------|------------|-----------|
| 群馬県 | グレイスホーム | 車、マスク、加湿器 飛沫防止パネル等 | 2,238,776 | 2,176,000 |
| 群馬県 | あけぼのホーム | 非接触体温計、マスク グローブ、ガウン等 | 2,628,875 | 2,176,000 |
| 群馬県 | めぐみの里 | 空気清浄機、無線アクセ スポイント工事等 | 2,362,497 | 2,176,000 |
| 群馬県 | めぐみの里 | タブレット端末 (ソフトウェア込)2台 | 404,360 | 404,000 |
| 環境共創イニシアチブ | めぐみの里 | 空調改修工事 | 23,650,000 | 3,086,000 |
| 群馬県 | ベテル | 作業用長テーブル 飛沫防止パネル等 | 568,150 | 553,000 |
| 群馬県 | エステル | 空間噴霧器 パーテーション他 | 813,670 | 757,000 |

| | | | | |
|-----|-------|-------------------------|------------|------------|
| 群馬県 | シャローム | マスク、ハンドソープ ペーパータオル他 | 564,449 | 553,000 |
| 群馬県 | マイーム | 空気清浄加湿器 非接触体温計他 | 407,374 | 402,000 |
| 群馬県 | ぶどうの木 | ノートパソコン 空気清浄機等 | 1,154,560 | 794,000 |
| 群馬県 | カナン | ベッド、介護浴槽 車椅子、車両等 | 54,648,262 | 41,950,000 |
| 群馬県 | カナン | 空気清浄機、マスク グローブ、防護用品他 | 1,912,959 | 1,896,000 |
| 群馬県 | ゆうかり | 空気清浄機、グローブ 食堂用テーブル他 | 1,152,090 | 1,092,000 |
| 群馬県 | さつき | 空気清浄機、マスク 飛沫防止パネル他 | 328,228 | 324,000 |
| 群馬県 | シオンの丘 | 空気清浄機 除菌脱臭機他 | 159,060 | 148,000 |
| 群馬県 | ポパイ | 空気清浄機、体温計 イオン発生機他 | 375,685 | 348,000 |

<総務部>

(1) 庶務・経理係

①概要

業務効率化や計算ミス等を防ぐため給与計算ソフトの見直しを検討。既存のソフトと比較して、有用性、互換性など詳しい内容を検討中。コロナ禍での感染予防対策として、デスクにアクリル板の設置や空気清浄機を設置した。年度当初と年末に職員が退職となり、職員体制は引き続き不安定な状態であった。

②重点目標に対する取り組み

ア 業務の整理と統一化を図る

- ・職員が定着せず、通常の庶務経理系の業務で終始してしまっただけのため、マニュアルの項目を出すのみで、分担し、作成までには至らなかった。そのため次年度に継続することとした。
- ・業務の ICT 化の検討を進めるため、見学を予定していたが、コロナ禍のため実施できなかった。

③見学者受け入れ状況

| 区分/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 団体 | 日数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 14 |
| 個人 | 日数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総 合計 | 日数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 14 |

(令和元年度 70日、235人)

④実習生受け入れ状況

| 区分/月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 | |
|------------------|----|---|---|---|---|----|----|----|----|---|---|----|----|-----|
| 社会人・学生 (資格取得) | 日数 | 0 | 0 | 0 | 3 | 20 | 14 | 14 | 10 | 0 | 0 | 40 | 77 | 178 |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 3 | 10 | 22 |
| 生徒 (施設利用) | 日数 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 20 |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| 総合計 | 日数 | 0 | 0 | 0 | 8 | 20 | 19 | 19 | 10 | 0 | 5 | 40 | 77 | 198 |
| | 人数 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 4 | 3 | 0 | 1 | 3 | 10 | 27 |

(令和元年度 210日、48人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者の安心・安全な生活を維持するために保守点検・環境整備・建物設備を計画して整備を実施した。固定資産管理係のマニュアルを追加、更新した。課題の洗い出しを行ない次年度の整備計画を作成した。

②重点目標に対する取り組み

ア 既存の建物設備の整備・精査をする。

- ・老朽化がすすんでいる建物（旧ベテル居住棟）の方向性については明確にできなかった。

③主に実施した施設整備

- ・連絡通路の床塗装（グレイスホーム、あけぼのホーム）
- ・エレベーター改修工事、空調回収工事、アクリルパネル撤去等（めぐみの里）
- ・車両購入（エステル、グレイスホーム、あけぼのホーム）
- ・一時保護場所改修工事（ぶどうの木）
- ・増床工事（カナン）

※正門（門扉）改修工事、めぐみの里多目的室のレイアウト変更、教会屋外掲示板、園内の立て看板（聖書の言葉）等については、検討不足で実施できなかった。

| 月 | 日 | 実施内容 | 業者 |
|---|----|--|-----------------------|
| 4 | 8 | 簡易専用水道定期検査 | 県環境衛生試験センター |
| | 14 | 浄化槽法第 11 条検査① | 県環境検査事業団 |
| 5 | 9 | 樹木消毒 | 身障施設で対応 |
| 6 | 3 | 浄化槽清掃（グレイスホーム、バルナバホーム、若杉寮） | 渋川衛生社 |
| | 18 | 職員研修所屋根瓦改修工事 | 円建工 |
| | 22 | 研修所のアスファルト舗装工事 | 円建工 |
| 7 | 9 | 身障施設備蓄倉庫 2 台設置 | フジ産業株式会社 |
| | 10 | エステル送迎車両購入 | 群馬トヨペット |
| | 15 | めぐみの里 2 階、3 階バルコニーのアクリル板撤去、3 階物干し場・屋上プレハブ倉庫撤去 | 円建工 |
| | 21 | アンベアンス電話配線工事 | 藤田ソリューション |
| | 30 | 建築基準法第 12 条防火設備定期調査報告（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里、カナン） | ぐんま特殊建築物定期調査・検査事業協同組合 |
| 8 | 13 | メイン広場、さつき裏、あじさい坂樹木伐採 | 東京電力 |
| | 17 | 樹木伐採（全施設対象） | 勢多造園 |
| | 18 | アンベアンス壁工事 | 津久井工務店 |
| | 20 | めぐみの里のエレベーター設備工事 | 東芝エレベーター |
| | 24 | あけぼのホーム、グレイスホーム連絡通路床塗装 | 円建工 |

| | | | |
|-------------|-----------------------|---------------------|-------------|
| | | ※地下重油タンク：目視点検 | 乙四資格保持者 |
| 9 | 1 | クロスホーム浄化槽清掃 | 渋川衛生社 |
| | 3 | さつき寮浄化槽清掃 | 渋川衛生社 |
| | 18 | エステル汚泥引抜 | 関東清掃社 |
| | 26 | めぐみの里停電点検 | 関東電気保安協会 |
| 10 | 1 | 浄化槽 11 条検査② | 県環境検査事業団 |
| | 5 | めぐみの里防火戸改修工事 | 円建工 |
| | 9 | エステル浄化槽 11 条検査 | 県環境検査事業団 |
| | 30 | カナン増床建物引き渡し | 津久井工務店 |
| 11 | 1 | めぐみの里空調工事 | 藤田エンジニアリング |
| | 4 | めぐみの里防火戸改修工事 | 南群馬浄化槽センター |
| | 16 | 栗林地下水道管破裂修理 | 三原冷熱サービス |
| | | めぐみホールワックス掛け | 六本木クリーンサービス |
| | 17 | あけぼのホーム汚泥引抜 | 渋川衛生社 |
| | | 教会、アンベアンスワックス掛け | 六本木クリーンサービス |
| | 18 | ベテル、あけぼのホームボイラー缶体洗浄 | 藤田テクノ |
| | 26 | 身障厨房浄化槽汚泥引抜 | 環境技研 |
| 浄化槽 11 条検査③ | | 県環境検査事業団 | |
| 12 | 3 | 浄化槽清掃（礼拝堂、グレイスホーム） | 渋川衛生社 |
| 1 | 14 | 若杉寮 203 号室給湯器修理 | 中島商店 |
| | 28 | 森の散歩道外灯交換 | 岳電工 |
| | | 水道管、アンベアンス周辺樹木伐採 | 勢多造園 |
| 2 | 3 | 身障施設キュービクルメーター交換 | 関東電気保安協会 |
| | 7 | アンベアンス配管清掃 | 萩原興業 |
| | 9 | 後援会、魁編集局電話回路工事 | NTT |
| | 14 | クロスホームスプリンクラー修理 | 藤田エンジニアリング |
| | 24 | スプリンクラー点検 | 環境技研 |
| 3 | 1 | あけぼのホーム浄化槽 11 条検査 | 渋川衛生社 |
| | 9 | カナン無停電検査、エステル停電検査 | 関東電気保安協会 |
| | | ぶどうの木一時保護場所改修工事 | 小林工業 |
| | 17 | めぐみの里汚泥引抜 | 関東清掃社 |
| | 18 | カナン汚泥引抜 | 関東清掃社 |
| 20 | 受水槽清掃（カナン、めぐみの里、身障施設） | 日化メンテナンス | |

※浄化槽定期点検・定期清掃は、法令に則り実施。

※浄化槽法第 11 条検査（年 1 回・県環境検査事業団）は、3 回に分けて実施。

①グレイスホーム、めぐみの里、カナン、シャローム

②教会、ベテル、旧ベテル会議室、さつき

③クロスホーム、ダビデホーム、バルナバホーム、職員研修所、若杉寮、MGM、地域交流ホーム

※簡易専用水道定期検査は、身障施設（25 トン）めぐみの里（24 トン、6 トン）、カナン（35 トン）の 3 箇所を実施。

※身障施設・めぐみの里・カナンのキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

< 人事部 >

(1) 人材育成係

①概要

コロナ禍ではあったが、山田相談役による研修以外については研修の機会を設けることができた。また、各施設では zoom などを利用したオンライン研修を積極的に受講した。

「人材育成体系」に着手をしたが完成には至っていない。「職免制度の見直し」や「伊藤文庫の整理」などの課題には、担当者の怠慢により着手ができていない。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材育成体系（制度）を構築する

- ・山田理事長から「恵の園の人材育成に対する考え方・想い」の説明を受けた（1月5日:管理者同席）。それらをもとに担当者間で再考したが、完成には至っていない。次年度には完成させる。

③実施研修

ア 法人内研修

- ・理事長による臨時管理職研修

| 月 | 日 | 内 容 |
|---|----|-------------------|
| 1 | 18 | 「ハラスメント」相談受付事後の対応 |
| 1 | 18 | 「デジタル力」の推進に向けて |

- ・管理職研修会（相談役による）

| 月 | 日 | 内 容 |
|----|----|-----------|
| 6 | 17 | コロナ禍のため中止 |
| 9 | 23 | コロナ禍のため中止 |
| 12 | 18 | コロナ禍のため中止 |
| 3 | 23 | コロナ禍のため中止 |

- ・指導職研修会（相談役による）

| 月 | 日 | 内 容 |
|----|----|-----------|
| 5 | 18 | コロナ禍のため中止 |
| 8 | 17 | コロナ禍のため中止 |
| 11 | 16 | コロナ禍のため中止 |
| 1 | 18 | コロナ禍のため中止 |

- ・一般職研修会（相談役による）

| 月 | 日 | 内 容 |
|---|----|-----------|
| 4 | 20 | コロナ禍のため中止 |
| 7 | 20 | コロナ禍のため中止 |

| | | |
|----|----|--------------------------------|
| 10 | 19 | 「コロナ」後の不安、不安定な時代こそ「自助」 ※役職者も参加 |
| 1 | 19 | コロナ禍のため中止 |

・指導職研修

| 月 | 日 | 内 容 | 講 師 |
|---|----|---------|--------------|
| 5 | 11 | 新任指導職研修 | 山田理事長、真部人事部長 |

・全体研修会、テーマ別研修会

| 月 | 日 | 内 容 | 担 当 者 | 備 考 |
|----|----|---|-------|---------------|
| 7 | 2 | 心肺蘇生法 | 人材育成係 | 渋川消防署 |
| 10 | 14 | コロナBCPの説明 | 人材育成係 | 安全衛生委員会 |
| | | 感染症対策 「秋から冬にかけて流行する感染症」 ～恵の園で行なえる予防と対策～ | 人材育成係 | 井口医師 (産業医) |
| 12 | 7 | ハラスメント研修会 (役職、一般職、契約職が参加) | 人材育成係 | 熊弁護士 斎藤弁護士 |
| | 14 | | | |
| | 17 | | | |

・現任研修会

各施設にて年間 11 回実施

・役職研修会

| 月 | 日 | 内 容 | 講 師 |
|----|------|-----------------------------------|---------|
| 11 | 2,13 | 防災BCPの説明と進捗状況報告 (備蓄食、オクレンジャー等) | 防災BCP担当 |

・中堅職員研修、リーダーズアカデミー：企画せず

・新任職員研修会

| 月 | 日 | 内 容 | 講 師 |
|---|-----|------------|-------------|
| 4 | 1～6 | 新任職員研修 | 山田理事長、各施設長他 |
| 7 | 2 | フォローアップ研修① | 人材育成係 |
| 3 | 4 | フォローアップ研修② | 人材育成係 |

・中途採用職員の新任職員研修

| 月 | 日 | 内 容 | 講 師 |
|----|-------|------------|-------------|
| 11 | 19～25 | 新任職員研修 | 山田理事長、各施設長他 |
| 2 | | フォローアップ研修① | 人材育成係 |

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会関連の研修に参加した。
- ・コーチング（コーチ・エイのDCD）：茂串施設長、藤巻施設長が参加した。

ウ 見学研修

- ・コロナ禍のため、積極的な施設見学は行なわなかった。

(めぐみの里：7/10、館内設備の見直しのため赤城育成園に見学に行った)

エ 自己啓発の推進

- ・職務免除制度の検討に着手したが、完成には至らなかった。

オ 専門医等による研修

- ・産業医による感染症に関する研修（全体研修）を実施した。
- ・zoom等を活用し、新型コロナウイルス感染症に対する予防策などの研修を受講した。

カ 赤城教育セミナー開催準備

- ・検討できていない。

(2) 採用係

①概要

カナン増床に向けた職員確保により、職員紹介の強化（報奨金支給）やラジオ CM 放送等にて採用者数（契約職員含む）は例年のほぼ倍となった。それでも法人全体でみれば、職員が足りない部署も多く、引き続き人材の確保に向けた取り組みは継続していく必要がある。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材の確保と定着

- ・今年度群馬県外国人材活躍推進課主催の外国人材向け就職ガイダンスに参加した。また、ハローワーク渋川ではクローズアップ求人掲示等を行ない、それぞれ窓口担当者との関係強化を図った。
- ・様々な採用ツールの活用。理事長指示によりラジオ CM を作成し放送した。職員や関係者からも反響が多く聞かれた。また、職員紹介や元職員が復帰するケースも多くあり、今後こうした仕組み作りにも着手したい。

(3) 安全衛生委員会

①概要

安全で快適な職場づくりに取り組んだが、4 件の労災事故が発生してしまった。(昨年度 3 件)

②重点目標に対する取り組み

ア 「転倒防止対策」に力を入れる

- ・今年度は各施設の危険箇所をピックアップする対応を行なった。しかし、完成までには至らず次年度以降も継続して取り組んでいきたい。

イ その他

- ・昨年度末より継続して、「新型コロナウイルス感染症」が全国的拡大につき、産業医と連携し、注意喚起と対策検討を行なった。（予防対策のリーフレット作成・掲示、予防対策の統一ルール作成、小学校等一斉休校に伴う特別有給休暇取得の取り決めなど）最終的には「恵の園 新型コロナ BCP」を完成させ、各施設に配布した。

③年間報告

| 月 | 日 | 内容 |
|----|-------|--------------------------------|
| 6 | 25,26 | 深夜業従事者の健康診断（三愛クリニック） |
| 10 | 14 | ストレスチェック（マインメンタルヘルス研究所） |
| | 15～22 | 井口産業医による全体研修「感染症予防について」 |
| 1 | 13,15 | 35歳未満職員（週30時間以上）の健康診断（三愛クリニック） |

④労働災害

| 発生日 | 施設 | 内容 |
|-------|-------|---------------------------------|
| 4月1日 | めぐみの里 | 利用者の姿勢を直す支援を行なった背中に痛み。（右肋軟骨損傷） |
| 6月28日 | めぐみの里 | 利用者に顔面を叩かれ右目を打撲。（右目網膜振盪症） |
| 7月20日 | めぐみの里 | 入浴支援中、脱衣場で足を滑らせ転倒し、右側頭部と右手首を打撲。 |
| 10月7日 | 庶務経理 | 外玄関の清掃中、段差に躓き転倒し頭部を裂傷。 |

（4）交通安全係

①概要

講習や運転適性検査を、実施する事ができなかった。安全運転、事故防止のためポスターやチラシの掲示や配布。朝礼等で交通安全週間や交通事故予防の呼びかけは例年通り実施できた。

②重点目標に対する取り組み

ア 安全運転、点検整備マニュアル完成を目指す

- ・着手できていない。インターネットを活用しても個人での作成には限界があると感じた。今後は、交通安全協会や国土交通省の所管法人などに問い合わせる等しながら完成を目指す。

- イ 交通安全講習等を行ない、職員の交通安全意識を高めていく
- ・講習や転適性検査を、実施する事ができなかった。安全運転、事故防止のためポスターやチラシの掲示や配布。朝礼等で交通安全週間や交通事故予防の呼びかけは例年通り実施できた。

③業務計画

- ア 保険会社と連携し交通安全講習会を実施する。
- ・着手していない。今後しばらく、職員を集めて実施する講習会は、感染症等の理由によって開催が難しい。文書か動画での回覧をし、交通安全への意識を高められるように検討する。
- イ 各施設で会議や現任研修で交通安全講習ができるよう資料の提供を行なう。
- ・同上
- ウ 洗車、工具類の点検を定期的の実施する。
- ・チーフ会議等で各施設への呼びかけを行なった。
- エ ホイールローダ講習の受講を計画的に進める。
- ・今年度はコロナ禍により、講習を受けることを危険と判断した。次年度も状況を確認しながら、受講を計画する。

<その他の係>

(1) 防災・防犯係

①概要

大規模災害を想定した対応の検討を開始した。(県モデル BCP 策定検討会のⅡ期メンバー)

②重点目標に対する取り組み

- ア 防災面：大規模災害を想定した対応を構築する（災害 BCP を策定する）
- ・令和 2 年度は土砂災害を中心に検討を実施した。次年度は検討した内容をもとにした訓練を予定。
 - ・一斉配信メール導入、安息角の測定、安否確認方法、ミニ炊き出し訓練、身障備蓄倉庫の設置などを実施した。
- イ 防犯面：「恵の園防犯対策マニュアル」を完成させる
- ・マニュアルの準備段階として、「不審者対応の流れ」「緊急通報の電話対応」から検討を開始した。完成には至らなかったため、引き続き検討をすすめる。

- ・ハード面の整備として、暗い場所に「外灯」を設置した。

③年間の取り組み事項

| 月 | 内 容 |
|----|---|
| 4 | 防災に関する点検検査の一覧表を作成 |
| | 防災訓練の実施要項・実施報告書の書式を変更 |
| 5 | 防災リュック・防災グッズの確認（全施設） |
| | 消防設備定期点検（岳電工：18～21日） |
| | 県社協担当者が園内巡視（28日） |
| 6 | 「土砂災害防止月間」のため、雨どい・排水溝の清掃、土嚢の準備、渋川ほっとマップメールの登録呼びかけ、洪水ハザードマップの確認、大雨時の警戒レベル別の避難行動の確認 |
| 7 | 身障施設に備蓄食用倉庫を設置（フジ産業） ※10/7に備蓄食移動 |
| | 警戒区域一覧図（受信機表示図）の作成と掲示 |
| 8 | 重油タンク目視点検（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里） |
| | 県モデルBCP策定検討会オンライン打ち合わせ（31日） |
| 9 | 備蓄食（えいようかん・アルファ米）を活用したミニ炊き出し訓練を実施（1日：防災の日） |
| | スプリンクラー点検（正栄技研：2～3日） |
| | 危険物取扱者保安講習（17日：麻田、佐藤洋、高橋翼） |
| | 県モデルBCP策定検討会の講師3名、県社協1名、経営青年会2名来園。園内のハザードスポットの確認等を実施（26日） |
| 10 | 一斉メール「オクレンジャー」の導入 |
| | ガス・一酸化炭素の警報器交換（中島商店：6日） |
| 11 | 役職研修にて、備蓄倉庫・ガス発電機の確認（2回に分けて実施） |
| | 消火器点検（共和消防設備） |
| | 消防設備点検（共和消防設備：17～19日） |
| | コンセント部の埃、たこ足配線の見直しを実施 |
| 12 | 園内の急傾斜地の安息角の確認（真下測量：165,000円） |
| 1 | 令和3年度の重要事項説明書に「災害時の対応項目」を追加 |
| 2 | スプリンクラー点検（正栄技研：24～25日） |
| 3 | 防火対象物点検（共和消防設備：4, 8, 9日） |
| | 県モデルBCP策定検討会オンライン打ち合わせ（17日） |

④防災訓練実施結果および各施設の取り組み事項

| | 訓練内容 | 日程（※印は施設ごとの取り組み事項） |
|---------|------------|---|
| グレイスホーム | 火災想定訓練（日中） | 7月30日 |
| | 火災想定訓練（夜間） | 1月26日 |
| | 地震想定訓練 | 3月25日 |
| | | ※ひまわり棟の放送設備を修理（岳電工） ※夜間巡回時間を変更 ※憩いの広場の消灯時間を変更 |

| | | |
|---------|------------------------------------|---|
| あけぼのホーム | 火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練 | 6月30日（消防立ち合い） 11月30日（消防立ち合い：全体・検証訓練） 2月16日 ※防災カーテンを交換 ※ベランダの避難経路の物品撤去 ※独自の防犯・防災マニュアルを作成 ※森の散歩道に外灯設置 |
| めぐみの里 | 火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練 | 9月3日（全体訓練） 12月10日 1月29日 ※3階ベランダ（扉）の鍵を取り付け |
| マイーム | 火災想定訓練（夜間） 〃 〃 〃 | 6月17日：バルナバホーム） 9月8日：さくらホーム 9月15日：クロスホーム 10月8日：ダビデホーム ※各ホームで非常食の調理訓練を実施 |
| ベテル | 火災想定訓練（日中） 〃（2回目） 地震想定訓練 | 9月24日 3月18日 実施せず |
| エステル | 火災想定訓練（日中） 〃（2回目） 地震想定訓練 | 7月27日 3月19日 実施せず ※防犯対策として、エステル正面、エステル～さつき間、職員駐車場の3カ所に照明を設置（岳電工） ※非常用放送設備のスピーカー工事（岳電工） |
| シャローム | 風水害想定訓練 火災想定訓練（日中） 地震想定訓練 | 1月9日 3月29日 実施せず ※風水害想定訓練は初めて実施 ※事務所内に防災しぶかわが聞こえる「防災行政無線個別受信機」を設置 |
| カナン | 火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練 | 7月29日 2月24日 実施せず ※停電時の対応マニュアルを作成 ※避難誘導マニュアルを変更 |
| ゆうかり | 火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（日中） 地震想定訓練 | 7月29日 2月24日 実施せず |
| さつき | 火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練 | 7月15日（消防立ち合い） 2月8日 3月29日 ※各居室のコンセントタップを全交換 ※各居室のガラス戸に補助鍵を設置 |

| | | |
|-----|-----------|------------------|
| | | ※玄関付近にセンサー送信機を設置 |
| その他 | ポパイ・ぶどうの木 | 2号棟扉の施錠実施 |

※自主点検は偶数月に実施

※コロナ禍により、消防署の立ち合いは年3回のみ（6/30、7/15、11/30）

※明保野地区の防災会議、ソフトボール大会、合同防災訓練もコロナ禍で中止

（２）広報係

①概要

一粒の麦を9月（夏号）、1月（新年号）を発行。校正手順を変更したが、原稿の依頼の仕方が悪く、原稿を書く目的や意図を伝えていなかったため、修正が多くなってしまった。ホームページ関係では、リニューアルに向け各施設のページの修正を開始。また、インスタグラムの活用を開始した。

②重点目標

ア 広報機能の強化

- ・広報誌の発行について、昨年変更した校正手順を定着させる。
動きだしが遅く、改善ができていない。変更した手順に関しても、責任者だけが対応しているため、時間を要す状態となっている。

イ ホームページや SNS を活用し、情報公開の幅を広げる。

- ・インスタグラムの活用を開始。発信する情報も、求人情報や介護予防情報を発信することができた。また、情報を発信することで、他法人等のフォロワーも増え様々な情報を得ることもできた。ホームページでは、各施設のページを見直し今後のリニューアルに向けて整理を実施した。

③事業内容

ア 法人パンフレットの改訂および管理

- ・大きな変更はない。管理を継続し、カナンの増床人数の変更を行なう準備を進めた。

イ 施設 PR パンフレットの改訂および管理

- ・法人玄関の補充を定期的実施。改訂については、来園度に継続。

ウ 「施設紹介ムービー」の更新・管理と活用

- ・新たな事業所を追加し完成。

エ 「恵の園からのメッセージ」ムービーの更新・管理と活用

- ・研修や見学者来園時に使用した。

- オ 「ヒストリームービー」の作成・管理と活用
 - ・上申中。
- カ 施設紹介パネルの更新および管理
 - ・所定の場所に掲示。一部追加、修正中。
- キ ホームページの更新および管理
 - ・各施設の行事、求人情報等を随時更新した。また、フェイスブック、インスタグラムの更新も同時に実施した。
- ク 恵の園ニュース「一粒の麦」の作成および配布と管理
 - ・夏号、新年号共に発行が遅れた。
 - ・毎号 2,500 部印刷、約 1,400 部を送付。
 - ・令和 2 年 6 月 22 日発行
 - ・令和 3 年 1 月 2 日発行
- ケ 職場啓発ポスターの掲示および管理
 - ・2 ヶ月に一度ローテーションし、所定の場所に掲示した。

(3) 地域福祉係

①概要

新型コロナウイルスの感染拡大の影響があり、予定していた活動はほぼ実施することはなかった。重点目標に掲げた「講師派遣に向けた基準マニュアルを完成させる」については、人材育成係と連携し、完成させることができた。

②重点目標

ア 新しい地域福祉活動を実施する

- ・地域住民に向け「食事」に関するチラシの配布について検討をすすめたが、実施するまでには至らなかった。
- ・複数の事業所が連携した公益的取り組みに焦点をあて、情報収集を行なった。見学先の候補を挙げたが、コロナ禍のため実施するまでには至らなかった。

イ 講師派遣に向けた基準マニュアルを完成させる

- ・長年の課題だった外部講師を派遣する際の基準マニュアルを完成することができた。

③地域との交流について

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により当初予定していた行事が中止になり、物品

の貸し出し、職場体験実習の受入れ、渋川市社会福祉協議会が主催するボランティアの日事業等に協力することができなかった。

- ・利用者と共に地域サービスデー（環境美化）を6月と10月の年2回実施した。

④講師等の派遣について

- ・榛名女子学園から介護職員初任者研修の講師の依頼があり、職員15名が講師を担当した。

⑤その他

- ・渋川ライオンズクラブのふれあいボーリング大会や高崎パイロットクラブコンサート、Jリーグ「ザスパ草津」観戦、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」観戦招待は中止になった。
- ・豊秋赤十字奉仕団（旧豊秋婦人会）より、花の苗をいただき、各施設へ配布した。
- ・高柳歌謡教室発表会は開催されなかった。
- ・恵の園をささえる会のボランティア活動は実施されなかった。

（4）支援向上委員会

①概要

虐待防止の手引き書づくりや課題整理は担当を振り分け検討したが、どちらも達成できず、次年度へ持ち越した。

②重点目標に対する取り組み

ア 手引書の完成

- ・虐待防止の手引き書は、恵の園の職員行動規範をもとに、具体例をいれたもので作成を進めることで検討中、完成には至らなかった。

イ 昨年度実施した「仕事の基本チェックリスト」から出た課題について整理し取り組む

- ・アンガーマネジメントやマインドフルネス等の研修を検討。研修をすることが目的でなく、より課題に対し有効的なテーマで再検討をするが、実施には至らなかった。

(5) 公益的取り組み

①概要

新型コロナウイルス感染予防のため、明保野地区の住民の皆さんを対象とした「介護予防教室」を継続することができなかつたため、地域の回覧板を活用し、リーフレットでの情報提供を行なつた。

法人のホームページを利用し、公益的な取り組みの実施状況等について発信した。

②重点目標

ア 介護予防の取り組みを進めていく

- ・令和2年3月に介護予防教室を開催し継続して毎月の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動を自粛した。先の見えない自粛生活が続いていることにより、『生活不活発』による健康への影響や、加齢に伴い身体機能の低下や認知機能の低下、持病の悪化が危惧されるため、住み慣れた環境で安心して生活を送れるよう、「予防も福祉」という視点を持って、身体機能維持、向上を図るだけでなく、栄養改善、口腔機能の向上等の面からも、段階的に情報提供をしていければと考え、地域の回覧板を活用し恵の園独自で作成したリーフレットで情報提供を行なつた。

イ 様々な課題を抱えている方（特に就労困難、引きこもり等）への支援を検討していく

- ・高齢者施設の会合等で、地域の方から地域ニーズについての情報を収集したが、地区の中では、該当する方はいなかつた。もっと範囲を広げて実施するまでには至らなかつた。

③社会福祉に関する教育活動や情報提供

ア ペットボトルのキャップを収集し、世界の子供にワクチンを送る支援について検討し実施することとなつた。

イ 福祉体験学習及び職場体験活動については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となつた。

ウ 榛名女子学園の介護職員初任者研修に講師15名、23日間派遣した。

エ 福祉系専門学校及び大学の学生さんの資格取得に向けた現場での実習を、延べ22名、178日間に渡り受け入れた。

オ 福祉・教育・医療分野の広報誌「魁」を年2回、毎回3,000部発行し、一般の方々へ福祉啓蒙活動を行なつた。

④福祉サービス対象外の方への支援

ア 通院・入院が困難なの方々に対して、職員が同行し、手続きや入院中の支援を行

なった。

- イ 障害特性等で地域生活が困難な利用者 1 名に対して、職員寮を安価で提供し、生活全般の支援を行なった。

⑤地域の福祉ニーズに対する取り組み

- ア NPO 法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会に役員 1 名が経営参加、また、職員 1 名を派遣し、渋川市の相談支援を中心としたニーズに応えるとともに相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し計画相談や一般相談を行なった。

⑥少年矯正事業への協力

- ア 前橋家庭裁判所および高崎家庭裁判所からの補導少年の福祉現場での体験実習を受入れた。

| | 期間 | 性別 | 人数 | | 期間 | 性別 | 人数 |
|---|---------------|----|----|---|-------------|----|----|
| 1 | 7/6～8 (3日間) | 男 | 1 | 2 | 3/1～5 (5日間) | 男 | 1 |
| 3 | 3/15～18 (4日間) | 男 | 1 | 計 | 3人 (12日間) | | |

(令和元年度 3人)

- イ 榛名女子学園の園生の福祉現場での奉仕活動については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(令和元年度 35人)

⑦災害時における要配慮者への支援

- ア 地域の方々が災害時・遭難時など食物・飲用水の入手が困難な場合に備えるため防災備蓄食の在庫の増量を行なった。

令和2年度

施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

| 種 別 | 施 設 名 称 |
|-----------------------------|---------------|
| 障 害 者 支 援 施 設 | グ レ イ ス ホ ー ム |
| 障 害 者 支 援 施 設 | あ け ぼ の ホ ー ム |
| 障 害 者 支 援 施 設 | め ぐ み の 里 |
| 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 | ベ テ ル |
| 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 | エ ス テ ル |
| 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 | シ ャ ロ ー ム |
| 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 | マ イ ー ム |
| 相 談 支 援 事 業 | ぶ ど う の 木 |
| 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム | カ ナ ン |
| 認 知 症 対 応 型 老 人 共 同 生 活 援 助 | さ つ き |
| デ イ サ ー ビ ス | ゆ う か り |
| 福 祉 用 具 貸 与 ・ 販 売 事 業 | ポ パ イ |
| 居 宅 介 護 支 援 事 業 | シ オ ン の 丘 |
| 収 益 事 業 | オ リ ー ブ |

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1章 年間行事、集会等 | 1 |
| 第2章 会議・研修・集会等一覧 | 3 |
| 第3章 障害者支援施設 | |
| 1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕 | 5 |
| 2. あけぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕 | 10 |
| 3. めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕 | 16 |
| 第4章 障害福祉サービス事業所 | |
| 1. ベテル〔就労継続支援事業B型〕 | 21 |
| 2. エステル〔就労継続支援事業B型・生活介護事業〕 | 25 |
| 3. シャローム〔就労継続支援事業B型〕 | 29 |
| 4. マイーム〔共同生活援助事業・共同生活介護事業〕 | 32 |
| 第5章 相談支援事業 | |
| 1. ぶどうの木 | 34 |
| 第6章 高齢福祉事業 | |
| 1. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕 | 36 |
| 2. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型老人共同生活援助〕 | 42 |
| 3. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕 | 45 |
| 第7章 公益事業 | |
| 1. ポパイ〔福祉用具貸与・販売事業〕 | 47 |
| 2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕 | 48 |
| 第8章 収益事業 | |
| 1. オリーブ | 49 |

第1章 年間行事、集会等

(法=法人、B=ベテル、GH=グレイスホーム、AH=あけぼのホーム、里=めぐみの里、エ=エステル、シャ=シャローム、さ=さつき、マ=マイーム

カ=カナン、ゆ=ゆうかり、ぶ=ぶどうの木、シ=シオンの丘、高=高齢者施設)

| 月 | 合同行事 | 施設別行事 | 研修会・集会・会議 | その他 |
|----|--------------------------|--|---|--------------|
| 4 | 辞令交付式 1日 | お花見(各施設で実施) | 現任研修1回(各施設で実施) 新任職員研修 1日～3日 | チャイの日 14日 |
| 5 | | | 現任研修1回(各施設で実施) 新任指導職研修 2日 監事監査 22日 理事会 27日 | |
| 6 | | | 現任研修1回(各施設で実施) 理事会 15日 評議員会 22日 故人を偲ぶ会 22日 | |
| 7 | | 夏祭り(里) 16日 | 現任研修1回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 2日 全体研修 2日 運営協議会 10日 経営会議 20日 | |
| 8 | | 暑気払い会食会(AH) 5日 納涼祭(B) 5日 夏祭り(高) 24日～30日 暑気払い(GH) 27日 備品等の入札(カ) 31日 | 理事会 12日 評議員会 31日 理事会 31日 | |
| 9 | | 夏季レクリエーション(エ) 19日 敬老の日お祝い(カ) 21日 | 現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 23日 理事会 25日 | |
| 10 | 創立記念日(52周年) 20日 | レクリエーション大会(AH) 14日 秋を味わう会(さ) 19日 秋季レクリエーション(エ) 23日 増築建物引渡し(カ) 30日 | 現任研修1回(各施設で実施) 全体研修 14日 一般職研修 19日 創立の精神を学ぶ集い 19日 永年勤続職員表彰 19日 | 地域サービスデー 21日 |
| 11 | 筑井孝子先生ファミリー絵画展 21～23日 | 運動会(ゆ) 4日 バーベキュー(B) 11日 増築建物群馬県検査(カ) 24日 秋覚祭(GH) 26日 | 現任研修1回(各施設で実施) 役職研修 2.13日 新任研修 19.20.24.25日 | |

| | | | | |
|----|-----------------------------|---|--|--|
| 12 | クリスマス集会 24日 仕事納め・大掃除 28日 | クリスマス会食会(エ) 9日 年末会食会(AH) 9日 望年会(カ) 16日 クリスマス会食会(さ) 16日 クリスマスティーパーティー(里) 24日 | 現任研修1回(各施設で実施) ハラスメント研修7.14.17日 | |
| 1 | 仕事始め・新年会 4日 | 新年会(カ) 4日 新年会会食会(GI) 7日 もちを楽しむ会(GH) 12日 新年会会食会(AH) 13日 | 現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 18日 | |
| 2 | | | 現任研修1回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修(中途) 25日 | |
| 3 | | | 現任研修2回(各施設で実施) 理事会 3日 新任フォローアップ研修 4日 評議員会 18日 創立の精神を学ぶ集い 22日 | |

第2章 会議・研修・集会等一覧表

各施設の会議及び集会、研修について下記のとおり実施した。

(1) 会議・集会等

| | 会議等の種類 | 曜日・回数等 | 時間 | 場所 | 出席の範囲 |
|------------|--------------|------------|-------------|------------|----------------------------|
| 会 議 | 経営会議 | 隔月 | 13:30~15:30 | めぐみの里会議室 | 相談役、理事長、施設長 |
| | 管理職会議 | 毎週火曜日 | 10:10~12:00 | めぐみの里会議室 | 施設長、副施設長 |
| | チーフ会議 | 毎週火曜日 | 13:00~14:00 | めぐみの里会議室 | チーフ(各部署から1名)施設長又は副施設長がワグナー |
| | 地域福祉係会議 | 第1金曜日 | 14:10~16:00 | めぐみの里会議室 | 地域福祉係担当者 |
| | 人材育成係会議 | 第2金曜日 | 14:30~16:00 | めぐみの里会議室 | 人材育成係担当者 |
| | 広報係会議 | 第4金曜日 | 14:00~16:00 | めぐみの里会議室 | 広報係担当者 |
| | 防災防犯係会議 | 第1水曜日 | 14:00~16:00 | めぐみの里多目的室 | 防災係担当者 |
| | 安全衛生委員会 | 第2金曜日 | 13:30~14:30 | めぐみの里会議室 | 安全衛生管理監督者、衛生管理者、産業医、担当職員 |
| | IT担当会議 | 第2木曜日(奇数月) | 14:10~15:00 | めぐみの里会議室 | IT担当者 |
| | 固定資産管理係会議 | 隔月 | 14:10~15:00 | めぐみの里会議室 | 固定資産管理係担当者 |
| | ベテル会議 | 第3木曜日 | 16:00~17:00 | ベテル製袋班 | 施設長、所属職員 |
| | グレイスホーム会議 | 第1.3木曜日 | 14:00~16:00 | グレイスホーム職員室 | 施設長、所属職員 |
| | あけぼのホーム会議 | 第3木曜日 | 14:00~16:00 | あけぼのホーム職員室 | 施設長、所属職員 |
| | めぐみの里会議 | 第1.3木曜日 | 14:00~16:00 | めぐみの里多目的室 | 施設長、所属職員 |
| | シャローム会議 | 毎月1回 | 16:00~17:30 | シャローム職員室 | 施設長、所属職員 |
| | エステル会議 | 第3水曜日 | 17:30~19:00 | エステル職員室 | 施設長、所属職員 |
| | あじさいの家会議 | 月1土曜日 | 9:00~10:00 | あじさいの家職員室 | 施設長代理、所属職員 |
| | 知的障害者施設 給食会議 | 第3木曜日 | 13:00~14:00 | めぐみの里会議室 | 栄養士、給食担当者、業務委託者他 |
| | バルナバホーム会議 | 隔月1回 | 9:30~11:00 | めぐみの里会議室 | サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員 |
| | さくらホーム会議 | 隔月1回 | 9:30~11:00 | めぐみの里会議室 | サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員 |
| | クロスホーム会議 | 隔月1回 | 9:30~11:00 | めぐみの里会議室 | サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員 |
| | ダビデホーム会議 | 隔月1回 | 9:30~11:00 | めぐみの里会議室 | サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員 |
| | さつき会議 | 第4水曜日 | 14:00~16:00 | さつき職員室 | 施設長代理、所属職員 |
| | ぶどうの木会議 | 第3水曜日 | 13:00~15:00 | ぶどうの木相談室 | 施設長、所属職員 |
| | ポパイ会議 | 第1金曜日 | 15:15~17:15 | ポパイ相談室 | 施設長、所属職員 |
| | カナン会議 | 第1.3水曜日 | 14:00~16:00 | カナン地域交流室 | 施設長、所属職員 |
| | ゆうかり会議 | 第3火曜日 | 17:30~18:30 | ゆうかりダイルーム | 施設長、所属職員 |
| | 庶務・経理係会議 | 第1水曜日 | 10:00~12:00 | 庶務・経理事務室 | 総務部長、所属職員 |
| | 身体障害者施設 給食会議 | 第3水曜日 | 14:00~15:00 | グレイスホーム食堂 | 栄養士、給食担当者、業務委託者他 |
| | 集 会 等 | 職員朝礼 | 毎日 | 8:40~8:50 | 合同事務所 |
| 全体朝礼 | | 毎週月曜日 | 8:55~9:10 | あけぼのホーム前広場 | 身体障害者施設利用者、職員 |
| 創立の精神を学ぶ集い | | 土、月 月1回 | 10:20~11:50 | めぐみホール | 利用者、職員 |

(2) 研修会

| | | | | | |
|--------|------------------|--------|-------------|--------------|----------------------------|
| 研 修 | 管理職研修(相談役による) | 年 4 回 | 10:30~12:00 | めぐみの里多目的室 | 管理職 |
| | 指導職研修(相談役による) | 年 3 回 | 10:30~12:00 | めぐみの里多目的室 | 指導職 |
| | 新任チーフ研修 | 年 1 回 | 9:00~12:00 | めぐみの里会議室 | 新任チーフ |
| | 新任職員研修 | 年 1 回 | 9:00~20:00 | 研修センターリバーサイド | 前年度中途採用職員(T1 含)、新任職員(T1 含) |
| | 新職員研修(フォローアップ研修) | 年 1 回 | 9:00~12:00 | めぐみの里会議室 | 前年度中途採用職員(T1 含)、新任職員(T1 含) |
| | 現任研修(一部役職研修含む) | 年 15 回 | 各部署で設定 | 各部署 | 相談役、理事長、管理職、指導職、一般職他 |
| | 全体研修 | 年 2 回 | 17:45~19:00 | めぐみの里多目的室 | 管理職、指導職、一般職員 |

第3章 障害者支援施設

1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

(1) 概要

入浴機器等の導入では脱衣場への移動に昇降機を、ICTではNDソフト音声入力機器等のデモを試行、検討したが、今年度の導入には至らなかった。

新型コロナウイルスの影響で、利用者の外出支援等に制限を掛けざるを得なくなり、施設単位での行事を増やし余暇活動の充実を進めた。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 支援機関 | 入所日 | 性別 | 支援機関 |
|--------|----|------|-------|----|------|
| 6月22日 | 男性 | 北本市 | 12月2日 | 男性 | 渋川市 |
| 8月18日 | 男性 | 江戸川区 | | | |
| 12月31日 | 男性 | 高崎市 | | | |
| 3月5日 | 男性 | 新宿区 | | | |

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す

- ・既存のマニュアルを見直し、必要時応じ修正を行なった。
- ・入浴機器等の導入では段差解消のための昇降機と浴槽へ移動するリフトの導入を検討し、一部デモを施行。ICT分野ではNDソフト音声入力機器等のデモを試行、職員間で検討したが、共に導入には至らなかった。

(4) 利用者支援

①生活介護・施設入所支援

ア 生活支援

- ・コロナ禍で外出ができない状況の代替として、デリバリーサービスを利用した余暇の提供や施設独自での行事を例年より回数を増やして実施した。また、保護者とオンラインで面会ができるよう対策を図った。

イ 機能訓練

- ・ケース会議、リハビリカンファレンスにて居室にこもりがちな利用者に対してのアプローチを検討。訓練に参加しやすい環境を整え、居室で行なっている利用者に対してはモニタリング時に確認をした。

ウ 創作・文化活動

- ・ぴあっとは、例年より回数を増やして実施。作ることの楽しさや達成感を味わえるものとした。
- ・グレイシアターでは、今までの統計から、利用者の参加が多かったジャンルを上映した。

エ 生産活動

- ・新たな取り組みとしてドライフラワーを検討。
- ・封入作業の工程を分担化したことで作業効率が上がった。参加利用者が増え、作業環境や備品の整備が必要となり、テーブルや使用機材の購入を進めることになった。

オ 医務面

- ・定期的な健康診断・検査を行ない、異常が見られた利用者には医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を図った。
- ・生活支援員と看護師とで連携をとり、体調不良の利用者の早期発見、早期対応を行なった。

・年間報告

| 月 | 項目 | 内容 |
|---------------------------|----------------|---|
| 5 | 利用者採血 | (株) BML |
| 6 | 利用者前期健康診断 | 嘱託医 29 名 |
| 7 | 職員健康診断 歯科検診 | 三愛クリニック(35 歳未満職員・深夜業務従事者)10 名 利用者 25 名 |
| 8 | 利用者定期結核健康診断 | 渋川保健福祉事務所 20 名 |
| 11 | インフルエンザ予防接種 | 利用者 18 名、職員 18 名 |
| 12 | 利用者後期健康診断 | 嘱託医 28 名 |
| 1 | 職員胸部レントゲン撮影・採血 | 三愛クリニック (35 歳未満職員) |
| ※生活習慣病予防健診 (35 歳以上の職員) | | |
| ※訪問歯科実施 (KK伊香保デンタル：毎週火曜日) | | |

・通院状況 (延件数)

| 内科 | 外科 | 歯科 | 耳鼻科 | 皮膚科 | 眼科 | 神経科 | 泌尿器科 | 整形外科 | 脳外科 | 循環器科 | 呼吸器科 | 他 | 合計 |
|-----|----|----|-----|-----|----|-----|------|------|-----|------|------|---|-----|
| 117 | 20 | 19 | 13 | 30 | 33 | 55 | 100 | 27 | 6 | 11 | 13 | 0 | 444 |

(令和元年度 538 件)

・園内治療状況（延人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 348 | 435 | 484 | 518 | 432 | 541 | 506 | 552 | 556 | 538 | 396 | 506 | 5,812 |

（令和元年度 3,523 人）

・医師診察状況（延人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 11 | 11 | 29 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 28 | 11 | 11 | 11 | 167 |

（令和元年度 174 人）

・訪問歯科（延人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0 | 0 | 31 | 21 | 29 | 16 | 13 | 21 | 28 | 27 | 18 | 28 | 232 |

（令和元年度 248 人）

・入院状況

| 氏名 | 病名 | 入院期間 | 病院 |
|------|----------|-------------|----------|
| S.N. | 急性腎盂腎炎 | 4/6～4/13 | 有馬クリニック |
| K.Y. | 心不全 | 4/10～5/14 | 北毛病院 |
| S.N. | 腎盂腎炎 | 4/23～4/27 | 有馬クリニック |
| H.G. | 肺炎 | 6/9～6/22 | 北毛病院 |
| K.T. | 膀胱腫増設 | 6/18～6/29 | 渋川医療センター |
| K.Y. | 肺炎、尿路感染 | 7/30～8/17 | 北毛病院 |
| K.Y. | 肺炎 | 8/18～8/18 | 北毛病院 |
| T.H. | 誤嚥性肺炎、肝炎 | 9/30～12/11 | 北毛病院 |
| S.H. | 蜂窩織炎 | 10/2～10/15 | 北毛病院 |
| T.H. | 穿孔性腹腔内膿瘍 | 10/12～12/31 | 北毛病院 |
| K.T. | 尿道形成術 | 11/6～11/19 | 渋川医療センター |
| T.H. | 肺炎 | 12/15～3/5 | 北毛病院 |
| A.H. | 食欲不振 | 2/25～ | 北毛病院 |
| K.T. | 尿道形成術 | 3/18～ | 渋川医療センター |

オ 食事

- ・利用者個人の健康状態や嚥下機能等に合わせて食形態を検討し提供した。
- ・委託業者のもと、郷土料理などの行事食、選択メニューなどを定期的に提供した。
- ・配膳用のトレイが経年劣化による破損が見られるようになり、新規で購入した。

②年間行事報告

| 月 | 日 | 内容 | 月 | 日 | 内容 |
|----|----|-----------|----|----|---------------------------------|
| 4 | 8 | 花見 | 12 | 24 | クリスマス集会 |
| 7 | 26 | 日中想定避難訓練 | 1 | 9 | 自治会主催新年会 夜間想定避難訓練 もちを楽しむ会 |
| 8 | 27 | 暑気払い | 2 | 14 | 食事会 |
| | 27 | 日中想定避難訓練 | 3 | 17 | 旬の味覚を味わう会 |
| | | | | 25 | 地震想定避難訓練 |
| 11 | 26 | 旬の味覚を味わう会 | | | |

(5) 建物設備整備状況

| 月 | 内容 | 月 | 内容 |
|---|-----------------------------------|----|----------------------------|
| 4 | 受水槽水質検査 身障厨房害虫駆除 | 9 | スプリンクラー点検 ひまわり棟放送設備配線修理 |
| 5 | 消防設備点検 | 10 | ボイラー点検 |
| 6 | 廊下補修 | 11 | 館内ワックス掛け 消防設備点検 |
| 7 | 館内ワックスがけ 防災カーテン整備 非常食備蓄倉庫設置 | 3 | 受水槽点検 ハイゼット納車 |
| 8 | からたち寮裏の杉伐採 連絡通路塗装工事 | | |

(6) 短期入所事業

①概要

在宅生活が困難となり施設入所を希望される利用者の長期受入やグループホームでの生活で一時的に支援が必要になった利用者の受入など相談支援事業所と連携をとりながら対応した。

また、定期的に利用したい利用者の受け入れができるように日程調整を行ないながら受け入れを行なった。

②年間利用状況

| 支援機関 | 実利用者数 | 性別 | 延べ利用回数及び日数 | |
|------|-------|----|------------|-----|
| 渋川市 | 1名 | 女性 | 9回 | 44日 |
| 渋川市 | 1名 | 男性 | 3回 | 8日 |

| | | | | |
|-----|----|----|-----|------|
| 渋川市 | 1名 | 男性 | 3回 | 10日 |
| 渋川市 | 1名 | 女性 | 3回 | 79日 |
| 合計 | 5名 | | 15回 | 141日 |

利用稼働率：46 %（令和元年度 38%）

③重点目標に対する取り組み

- ア 個別支援計画を本人・家族の希望や意見を確認しながら作成した。本人にとって安心、安全な生活が送れるよう声掛けを行ない、体調不良時には通院等の支援を行った。
- イ 利用希望や施設見学の連絡を受けた際には、見学に来ていただけるように働きかけ、利用にあたっての相談等を行なった。

2. あげぼのホーム〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

利用者支援の見直しで現在使用しているマニュアルを担当で更新し、全職員で確認を行ないながら取り組んだが全て更新するまでには至らなかった。新型コロナウイルスの流行により外出などの企画ができなかった。館内でできるレクリエーションやクラブ活動を増やし、オンライン面会を導入して家族とのやりとりを進めた。施設内建物設備については施設車両購入、連絡通路塗装工事、館内のLED交換と予定していたものは全て対応することができた。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 実施機関 | 入所日 | 性別 | 実施期間 |
|-------|----|------|-----|----|------|
| 11月7日 | 女性 | 世田谷区 | なし | | |
| 3月29日 | 男性 | 墨田区 | | | |

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者の生活支援を見直す

- ・マニュアルの更新を担当で作成し、全職員の意見を集約しながら実施した。
- ・日中活動で年2回のレクリエーション大会を実施。入浴、給茶、クラブ活動の内容を利用者が選択し実施した。
- ・家族や成年後見人等との面会を実施するためにオンラインを導入した。
- ・身体を動かす大会や利用者と一緒に作るおやつレクなど室内で楽しめる活動をレクリエーション実施した。

②建物・設備修繕を計画的に進める

- ・連絡通路と塗装工事、正面玄関上の屋根塗装、新規車両購入を前期で実施した。
- ・利用者居室、洗面所、トイレ、機械室など共通部分以外をLED電球に交換した。
- ・館内ワックスを前期で実施し、エアコンやトイレ、浴室の清掃を外部業者に依頼して実施した。

(4) 生活介護・施設入所支援事業

①生活支援

- ・利用者の支援変更の書式を新規で作成し、全職員が周知できるように回覧した。
- ・事故、インシデント、ヒヤリハットの内容を毎月職員会議で検討し、再発防止を含めた対応を全職員に周知させた。

②リハビリテーション

- ・利用者一人ひとりの身体機能が維持できるよう、生活に活かすリハビリを計画して進めた。
- ・集団で楽しみながら機能維持を図るために、利用者の意見を聞いて新規でボッチャやストラックアウトを購入して活動の機会を増やした。
- ・職員の腰痛予防として健康機器の情報を収集したが、導入までには至らなかった。

③日中活動

- ・月毎に入浴剤を変えたり、週毎に提供する給茶や月1回のデザートの日など利用者を選択して貰う機会を増やして提供した。おやつレクリエーションとして利用者に参加したい内容を選んでもらい、グループ毎で実施した。

| 活 動 | 内 容 |
|---------|--|
| 一粒の会 | あけぼのコミュニティー教会牧師、スタッフの協力による賛美集会 |
| 文芸同好会 | 自作の俳句、短歌、詩を詠む。 |
| カラオケクラブ | ゲーム機のオンラインでカラオケを使用し、各々の得意な歌を歌ったり、カラオケ大会へ向けての練習を行なう。 |
| 書を楽しむ会 | 自由な発想で書道を楽しむ。 |
| 手芸会 | ピン留めやカチューシャなどを作ったり、季節の貼り絵作り、編み物をしたりと利用者が色々な材料を使いながら楽しく、作品作りを行なう。 |
| 娯楽クラブ | テレビゲームの体感型ゲームやレクリエーションなど体を動かしながら楽しく行なう。 |

④医療

- ・入退院を繰り返す利用者に対して、家族や囑託医、病院の主治医と連携を図り状態に合わせた支援や通院を実施した。
- ・新規入所者の受入時に家庭や病院等での様子を聞き取り、変化に応じた支援を他職種と連携を図りながら進めた。

・年間報告

| 月 | 内 容 |
|---|---|
| 5 | 前期健康診断事前検査実施（利用者） |
| 6 | 採血（利用者） 前期健康診断実施（利用者） 深夜業従事職員健康診断（職員） |
| 8 | 胸部X-P（利用者） |

| | |
|------|-------------------------------------|
| 9 | 聴打診（利用者） 耳鼻科検診（利用者） 歯科検診（利用者） |
| 9~12 | 生活習慣病予防健診（職員） |
| 11 | インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員） |
| 12 | 後期健康診断事前検査実施（利用者） |
| 1 | 後期健康診断実施（利用者） 35歳未満職員健康診断（職員） |

・通院状況（延べ人数）

| 内科 | 外科 | 耳鼻科 | 眼科 | 皮膚科 | 神経科 | 泌尿器科 | 呼吸器科 | 脳外科 | 整形外科 | 循環器科 | 神経内科 | 精神科 | 婦人科 | 合計 |
|----|----|-----|----|-----|-----|------|------|-----|------|------|------|-----|-----|-----|
| 57 | 2 | 13 | 4 | 26 | 2 | 98 | 0 | 11 | 22 | 10 | 2 | 17 | 0 | 264 |

（令和元年度 327人）

・園内治療状況（延べ件数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 674 | 704 | 724 | 734 | 620 | 674 | 662 | 723 | 692 | 688 | 684 | 718 | 8301 |

（令和元年度 7644件）

・医師診察状況（延べ人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 1512 |

（令和元年度 1512人）

・入院状況

| 氏名 | 病名 | 期間 | 病院名 |
|------|-----------|-----------|----------|
| A. O | イレウス、尿路感染 | 4/1~4/14 | 北毛病院 |
| S. N | 尿路感染 | 4/4~6/2 | 北毛病院 |
| Y. A | 尿路感染 | 3/29~4/27 | 北毛病院 |
| K. S | 脳挫傷 | 3/12~4/6 | 渋川医療センター |
| K. S | 高次機能障害 | 1/28~5/11 | 榛名病院 |
| Y. A | 尿路感染 | 5/3~5/21 | 北毛病院 |
| J. O | 胃瘻カテーテル交換 | 5/18~5/19 | 北毛病院 |
| Y. K | 低血糖 | 5/28~6/18 | 北毛病院 |
| S. N | 尿路感染 | 6/5~7/6 | 北毛病院 |
| | 肺炎 | 7/7~7/28 | 北毛病院 |
| | 気管支炎 | 7/31~8/26 | 北毛病院 |
| K. S | 腎盂腎炎 | 6/24~7/1 | 有馬クリニック |
| Y. A | 尿路感染 | 6/29~7/14 | 北毛病院 |

| | | | |
|------|-----------|-------------|----------|
| | 気管支炎 | 7/31～8/24 | 北毛病院 |
| K. S | 急性腸炎 | 7/1～7/10 | 渋川医療センター |
| | 服薬調整 | 7/10～9/15 | 榛名病院 |
| Y. K | 慢性骨髄炎 | 8/3～8/14 | 関口病院 |
| H. T | 胃瘻カテーテル交換 | 8/12～8/13 | 北毛病院 |
| T. O | 腸閉塞 | 8/13～9/30 | 北毛病院 |
| Y. K | 慢性骨髄炎 | 9/17～10/5 | 関口病院 |
| Y. A | 尿路感染 | 10/8～11/9 | 北毛病院 |
| T. O | 検査入院 | 10/19～11/7 | 北毛病院 |
| K. O | 潰瘍性の皮膚剥離 | 10/19～11/30 | 群馬大学医学病院 |
| | 胃瘻造設 | 11/30～3/29 | 北毛病院 |
| A. O | 急性呼吸不全 | 10/30～12/10 | 北毛病院 |
| | 服薬調整 | 12/14～12/28 | 北毛病院 |
| K. S | 服薬調整 | 11/5～2/13 | 榛名病院 |
| J. O | 胃瘻カテーテル交換 | 11/12～11/13 | 北毛病院 |
| T. O | 腹部大動脈瘤手術 | 11/25～12/4 | 北関東循環器病院 |
| Y. A | 誤嚥性肺炎 | 12/1～12/23 | 北毛病院 |
| S. N | 胃瘻カテーテル交換 | 1/6～1/7 | 北毛病院 |
| H. T | 胃瘻カテーテル交換 | 1/13～1/14 | 北毛病院 |
| T. O | 胸部大動脈瘤手術 | 1/25～2/4 | 北関東循環器病院 |
| Y. A | 尿路感染 | 2/20～3/2 | 北毛病院 |
| K. S | 服薬調整 | 3/3～ | 榛名病院 |
| S. N | 肺炎 | 3/7～3/17 | 北毛病院 |
| | 肺炎 | 3/18～3/30 | 北毛病院 |
| A. S | 蜂窩織炎 | 3/15～ | 群馬中央病院 |
| Y. T | 肺炎 | 3/27～ | 北毛病院 |

・訪問歯科状況（延べ件数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0 | 0 | 74 | 62 | 45 | 50 | 52 | 42 | 62 | 59 | 56 | 53 | 555 |

（令和元年度 735 件）

⑤食事

- ・委託業者の企画したイベント食（郷土料理）や、選択メニューなどを提供し、利用者からも好評であった。
- ・食器の定期購入や厨房機器のメンテナンス等、使用頻度の高いものから随時買い換えを行ない、厨房の職員が使いやすい環境整備に努めた。

- ・利用者の身体状況、嚥下機能を摂食嚥下専門医や他職種と連携しながら確認し、個々に適した食事提供や支援を実施した。

【常食】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| エネルギー (kcal) | 1,604 | 1,608 | 1,647 | 1,615 | 1,614 | 1,623 |
| 蛋白質 (g) | 61.8 | 61.3 | 62.2 | 62.6 | 62.7 | 61.9 |
| 脂質 (g) | 43.1 | 44.5 | 45.4 | 43.6 | 45.4 | 46.4 |
| 塩分 (g) | 8.8 | 8.7 | 8.3 | 8.2 | 8.0 | 8.3 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| エネルギー (kcal) | 1,608 | 1,603 | 1,606 | 1,611 | 1,626 | 1,612 |
| 蛋白質 (g) | 60.8 | 61.4 | 61.2 | 61.7 | 63.1 | 61.9 |
| 脂質 (g) | 44.1 | 44.7 | 44.5 | 44.1 | 44.4 | 43.1 |
| 塩分 (g) | 8.2 | 8.0 | 8.1 | 8.2 | 8.3 | 8.1 |

【軟菜食】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| エネルギー (kcal) | 1,410 | 1,413 | 1,411 | 1,404 | 1,408 | 1,422 |
| 蛋白質 (g) | 51.1 | 51.2 | 50.2 | 51.4 | 52.4 | 51.7 |
| 脂質 (g) | 45.3 | 46.6 | 45.7 | 44.6 | 45.2 | 46.4 |
| 塩分 (g) | 8.9 | 8.0 | 8.1 | 8.3 | 8.1 | 8.3 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| エネルギー (kcal) | 1,412 | 1,413 | 1,412 | 1,424 | 1,429 | 1,412 |
| 蛋白質 (g) | 50.8 | 50.3 | 51.4 | 51.9 | 52.6 | 51.2 |
| 脂質 (g) | 44.8 | 46.3 | 45.5 | 46.1 | 45.6 | 44.2 |
| 塩分 (g) | 8.3 | 8.0 | 8.1 | 8.2 | 8.4 | 8.1 |

⑥年間行事報告

| 月 | 日 | 内容 | 月 | 日 | 内容 |
|---|-------------------------|---|----|------------------------|---|
| 4 | 8 | 花見 | 10 | 14 21 | レクリエーション大会 館内ワックス 地域サービスデー |
| 6 | 17 24 25～26 30 | 地域サービスデー レクリエーション大会 深夜業従事者職員健康診断 女性利用者採血 日中想定防災避難訓練 | 11 | 5 11 21～23 30 | インフルエンザ予防接種 館内ワックス チャリティ絵画展 夜間想定防災訓練 |
| 7 | 1 15 | 男性利用者採血 館内ワックス | 12 | 9 24 | 年末会食会 クリスマス集会 |

| | | | | | |
|---|--------------------------|---|---|--------------------|---------------------------------|
| 8 | 5 25 | 暑気払い 胸部レントゲン | 1 | 5～7 13 13、15 | ニューイヤーカフェ 新年会 35歳未満職員健康診断 |
| 9 | 3 9 11 16 22 | 女性利用者聴打診 耳鼻科検診 男性利用者聴打診 館内ワックス 女性利用者聴打診 | 2 | 16 | 地震想定防災訓練 |

(5) 建物設備整備状況

- ・新規車両購入と連絡通路の塗装工事を実施した。
- ・館内のLED交換を実施した。
- ・館内のトイレ、エアコン、浴室の清掃を実施した。

(6) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・利用者、ご家族が安心して利用できるよう、サービス担当者会議を実施。相談支援事業所ぶどうの木とも調整を行ないながら対応を進めた。
- ・目黒区の短期入所利用者が入所施設を探すまでの期間継続利用中。新規入所施設への入所準備を進めた。

②利用状況

[短期入所事業]

| 支援機関 | 実利用者数 | 性別 | のべ利用回数 | のべ利用日数 |
|------|-------|----|--------|--------|
| 渋谷市 | 1名 | 女性 | 39回 | 192日 |
| 渋谷市 | 2名 | 男性 | 3回 | 26日 |
| 合計 | 3名 | | 42回 | 218日 |

利用率 20.18%

[目黒区重度身体障害者短期入所事業委託]

| 支援機関 | 実利用者数 | 性別 | のべ利用回数 | のべ利用日数 |
|------|-------|----|--------|--------|
| 目黒区 | 1名 | 女性 | 12回 | 365日 |
| 合計 | 1名 | | 12回 | 365日 |

3. めぐみの里〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

コロナ禍に伴い、感染症対策に特に力を入れて支援を行なった。園内で楽しめる企画を考え実施をしたが、帰省や外出が中止になったことで精神的に不安定となり、職員に八つ当たりをする利用者もいた。また、離れて暮らすご家族に安心していただくため、定期的にハガキを送るなどの対応を図った。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 支援機関 | 入所日 | 性別 | 支援機関 |
|--------|----|------|-----|----|------|
| 4月24日 | 男性 | 高崎市 | なし | | |
| 10月14日 | 男性 | 渋川市 | | | |

(3) 重点目標に対する取り組み

① リスクマネジメントの体制を構築する

- ・利用者と職員が安心・安全に過ごせるように、各所の環境整備を実施した。
- ・「事故」「身体拘束・行動制限」「感染症」などの対応について、業務の標準化（フロー作成など）をしていくことを目指したが、完遂できていない。外国人介護人材等、多様な人材に活用できるように、次年度も引き続き取り組む。
- ・事故などの原因追及および再発防止策検討のため、カメラやセンサー、福祉機器の設置について検討し、すでに導入している知的障害者施設（赤城育成園）への施設見学を実施した（7月10日）。次年度には設置をする。

(4) 生活介護事業・施設入所支援事業

① 生活支援

- ・コロナ禍のため、県の警戒度に応じて利用者の帰省・外出・面会を大幅に制限した。行事等も中止になることが多くあったが、めぐみの里独自で夏祭りやリトミックなどを行なった。（学生の実習やボランティアは、可能な限り受入をした）
- ・骨折事故は3件（昨年7件）、裂傷事故（縫合）は5件（昨年12件）で事故件数は減少したが、いずれも職員の死角で発生している。原因追及のため、安心見守りカメラ等の設置を進める。

② 医療

- ・新型コロナウイルス感染症の予防策として、館内の換気や手指洗浄、職員の防護服の着脱訓練などを行なった。
- ・昨年度に引き続き、嘔吐下痢症やインフルエンザ等の感染症流行を防げた。
- ・12月より、数年ぶりに訪問歯科を再開した。（オーラルケア前橋デンタルクリニック）コロナ禍で通院に制限がかかったが、滞りなく治療が行なえた。

・年間報告

| 月 | 項目 | 内容 |
|-----|---|--|
| 6 | 利用者採血 | ビーエムエルで検査 |
| 7,8 | 利用者前期健康診断 | 嘱託医 |
| 8 | 深夜業従事者健康診断 利用者定期結核健康診断 県障害者新施設等への感染症対策専門家派遣事業 | 三愛クリニック 渋川保健福祉事務所 崎総合医療センター感染管理部 |
| 10 | インフルエンザ予防接種 利用者後期健康診断 | 嘱託医 嘱託医 |
| 11 | 耳鼻科検診 | 川島医師 |
| 12 | 歯科健診 | オーラルケア前橋デンタルクリニック (医師1名、コーディネーター1名) |
| 1 | 35歳未満職員健康診断 | 三愛クリニック |
| ※ | 生活習慣病予防健診(35歳以上の職員) | |

※毎週、嘱託医(井口Dr)が来園

※奇数月に摂食嚥下専門医(山川Dr)が来園

※利用者定期結核健康診断は、コロナ禍のため実施しなかった。

・通院状況(延件数)

| 内科 | 外科 | 歯科 | 耳鼻科 | 皮膚科 | 眼科 | 精神科 | 泌尿器科 | 整形外科 | 脳外科 | 循環器科 | 呼吸器科 | 他 | 合計 |
|----|----|----|-----|-----|----|-----|------|------|-----|------|------|---|-----|
| 88 | 3 | 68 | 3 | 43 | 26 | 75 | 45 | 96 | 15 | 0 | 0 | 9 | 471 |

(令和元年度 481件)

・園内治癒状況(延人数)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 380 | 391 | 324 | 365 | 250 | 372 | 374 | 270 | 408 | 573 | 383 | 473 | 4,563 |

(令和元年度 5,179人)

・医師診察状況(延人数)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 3 | 2 | 4 | 2 | 4 | 2 | 5 | 2 | 6 | 4 | 4 | 5 | 43 |

(令和元年度 36人)

・入院状況

| 氏名 | 病名 | 入院期間 | 病院 |
|-----|------------------|--------------------------|------------------|
| N.Y | 食道癌 | H28. 8.2~R3.1.18 | 田中病院 |
| O.M | てんかん発作 痙攣発作 | 3.2~4.9 4.10~4.25(死亡) | 渋川医療センター " |
| K.M | 外傷性クモ膜下出血 | 4.18~5.11 | 利根中央病院 |
| Y.H | てんかん発作の疑い 不整脈 | 7.8~8.6(転院) 8.6~10.28 | 群馬大学附属病院 赤城病院 |
| W.T | 重積発作 | 8.1~8.12 | 北毛病院 |

| | | | |
|-----|-----------------|-----------------------|------------------|
| | 〃 | 8.14～8.27 | 〃 |
| | 〃 | 9.16～10. 21 | 〃 |
| K.A | 誤嚥性肺炎 左睾丸の腫れ | 8.8～8.19 9.15～9.18 | 北毛病院 渋川医療センター |
| O.Y | 左肘の釘を抜く手術 | 9.29～10.1 | 関口病院 |

③食事

- ・エレベーター工事期間中の約 40 日間、エレベーターが使用できなくなったため 2, 3 階フロアで食事をした。ディスプレイ食器を使用するなど、災害時のシミュレーションに役立った。
- ・昨年度に引き続き、「わくわくランチ」を実施した。(イースター×わくわくランチ、ビーフ 100%特製ハンバーグのロコモコ、BBQ 唐揚げ・梅おろし唐揚げ丼、発酵ねばシヤキ丼、しらすの冷製大葉ジェノベーゼ) ※下半期は委託業者の所長が交代したことに伴い、一時的に中止した。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| エネルギー (kcal) | 1,913 | 1,909 | 1,915 | 1,920 | 1,908 | 1,912 |
| 蛋白質 (g) | 71.9 | 72 | 70.8 | 71.9 | 69.7 | 71.4 |
| 脂 質 (g) | 49.5 | 50.3 | 48.6 | 49.5 | 48.9 | 49 |
| 塩 分 (g) | 8.8 | 9.0 | 8.9 | 8.9 | 7.6 | 8.4 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| エネルギー (kcal) | 1,915 | 1,911 | 1,921 | 1,906 | 1,914 | 1,914 |
| 蛋白質 (g) | 70.5 | 71 | 71.4 | 71.3 | 70.7 | 69.3 |
| 脂 質 (g) | 50.1 | 50 | 49.8 | 49.9 | 79.5 | 50 |
| 塩 分 (g) | 8.8 | 9.0 | 9.0 | 8.7 | 9.1 | 8.8 |

④年間行事報告

| 月 | 日 | 内容 |
|----|----|-----------------------|
| 6 | 10 | Uレク |
| | 17 | 地域サービスデー |
| 7 | 16 | めぐみの里夏祭り |
| 9 | 1 | ミニ炊き出し訓練 (アルファ米等) |
| | 3 | 防災訓練 (夜間想定) |
| | 16 | Uレク |
| 11 | 11 | Uレク |
| 12 | 10 | 防災訓練 (日中想定) |
| | 24 | クリスマス集会、クリスマスティーパーティー |
| 1 | 4 | 新年会 |
| | 29 | 防災訓練 (地震想定) |

| | | |
|---|---|-----|
| 2 | 2 | 節分 |
| 3 | 5 | Uレク |

※コロナ禍のため、家族連絡会、キラキラレクなどは中止した。

(5) 建物設備整備状況

- ・経済産業省からの補助金（エネルギー使用合理化等事業者支援事業）を申請し、空調改修工事を実施した。
- ・防災査察での指摘事項の改善を図るため、2.3階アクリルパネル撤去等の改修工事を実施した。
- ・開設から25年が経過したため、エレベーターの「制御に関する機器交換」と「かご室内のリニューアル工事」を行なった。
- ・障害福祉分野のICT導入モデル事業費補助金を申請し、iPad×2台（ソフトウェア込み）の交付決定を受けた。
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、館内にwi-fiを設置し、Zoomによるオンライン研修や利用者家族とのオンライン面会を実施した。また、大型多機能加湿器×2台等を導入し、感染症予防に努めた。

| 実施月 | 内容 |
|-----|--|
| 4月 | 2,3階バルコニーのアクリルパネル撤去、屋上プレハブ倉庫撤去、3階物干し場ガラスハウス撤去（設計監理：傳建築事務所、工事業者：円建工） |
| 5月 | 防火戸改修（円建工）、空調改修工事（藤田エンジニアリング） |
| 6月 | エレベーター改修工事（東芝エレベーター） |
| 7月 | 館内害虫駆除（西部消毒） |
| 9月 | 館内外清掃（アットハウスクリーン） |
| 10月 | 食堂カーテンクリーニング、1階会議室ブラインド交換（インテリアおおた）女性トイレ音姫設置（岳電工）、ボイラー給湯二次配管漏水修理（日本サーモエナー） |
| 11月 | メイン広場樹木剪定（勢多造園）、大型多機能加湿器ナノフィール納品（中島商店）、浄化槽柵工事（南群馬浄化槽サービス）、トイレディスプレイ設置（ポパイ） |
| 2月 | Wi-Fi工事（コーワパートナーズ） |

※ワックス掛け：6,9,11,3月の年4回実施（平成美装・太平ビルサービス）

※エレベーター点検：5,8,10,2月の年4回（東芝エレベーター）

※消防設備点検・消火器点検：5,12月（岳電工、共和消防設備）

※スプリンクラー法令点検：9,2月（正栄技研）

※厨房害虫駆除：4,1,3月（ダスキンターミニックス）

※ボイラー保守点検：5,10月（日本サーモエナー）※10月は缶体煤洗浄も実施

(6) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・コロナ禍により、短期入所の受入は制限した。その結果、利用者を受け入れていない。

②年間利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 延べ人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 延べ日数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(7) 日中一時支援事業

①重点目標に対する取り組み

短期入所同様の対応を行なった。

②年間利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 延べ人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 延べ回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

第4章 障害福祉サービス事業所

1. ベテル〔就労継続支援事業B型事業〕

(1) 概要

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月27日から5月6日まで通所の自粛対応を行なった。ただし、在宅で作業等が行なえる利用者については、自宅で作業ができるような支援を行なった。

印刷班を除いた3班では、前年に引き続きプラス収支への転換が図れなかった。特に製袋班については、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言による経済の停滞の影響を受け、受注量が大幅に減少した。

今年度より、就労継続支援B型事業の定員を20名に変更した。定員の柔軟化を利用し、一日あたりの平均利用者数は21.7人。利用率は108.3%だった。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 支援機関 | 入所日 | 性別 | 支援機関 |
|-------|----|------|-------|----|------|
| 2月26日 | 男性 | 渋川市 | 4月1日 | 女性 | 足立区 |
| 3月31日 | 男性 | 渋川市 | 8月1日 | 男性 | 沼田市 |
| 3月31日 | 女性 | 渋川市 | 11月2日 | 女性 | 渋川市 |

(3) 重点目標に対する取り組み

① 平均工賃22,000円を達成する

- ・平均工賃は20,197円（前年比2,832円減）。目標である22,000円を達成することはできなかった。
- ・各班年間売上と平均工賃

| 班名 | 令和2年度売上実績 | 令和2年度売上実績 | 前年比 |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 印刷班 | 24,426,529円 | 27,573,163円 | -3,146,634円 |
| 販売班 | 1,302,185円 | 3,689,300円 | -2,387,115円 |
| 軽作業班 | 2,322,074円 | 3,151,439円 | -829,365円 |
| 製袋班 | 4,923,370円 | 6,785,995円 | -1,862,625円 |
| 各班合計 | 32,974,158円 | 41,199,897円 | -8,225,739円 |
| 平均工賃（月額） | 20,197円 | 23,029円 | -2,832円 |

イ 今までの就労移行のノウハウを活用し、一般就労ができるように力を入れていく

- ・一般就労への支援内容を盛り込んだ施設パンフレットを更新した。

- ウ 就労系 3 施設がそれぞれ抱える課題を挙げ、3 事業所で連携を図りながら課題に取り組んでいくとともに、今後に向けた展望について検討する
- ・まず就労系 3 施設の共通の課題を整理し、施設収支の改善に向けて事業所の統合案についてシミュレーションを行なった。作業面においては、3 施設の特徴を生かした商品展開について検討し、新商品を試作するまでに至った。

(4) 各班収支状況

①印刷班

- ・年間売上額は約 2,440 万円（前年比：約 88%）。新型コロナウイルスの感染拡大により、学校の広報や研修会資料集等の自社対応に適したリピート案件が発行中止や発行回数減となる等の影響があった。収支面も 262 万円（前年比：約 65%）の収益に留まった。前述のとおり、自社対応案件の減少に加え、配置職員減に伴う制作部分も含めた外注費の増加（前年比：114%）が最大の要因である。

②販売班

- ・年間売上額は約 130 万円（前年比：約 33%）、目標達成率 72.5%となった。新型コロナウイルスの影響で、通常販売は休止とした。8 月 26 日～28 日、園内にてサマーセールを実施。売上額は約 13 万円だった。10 月 26 日～30 日、渋川市主催みんなの福祉事業所展で 5 日間販売を行なった。5 日間での売上額は約 10 万円だった。

③軽作業班

- ・年間売上額は、約 232 万円（前年比：約 73%）目標達成率は 83.2%だった。内訳としては、銅箔とアルミの分別作業が 121 万円。発泡スチロールのテープ留め作業と排水溝部材の梱包作業を合わせて 56 万円であった。この 2 つの作業の売上は、軽作業班の総売上の約 76.2%を占めた。解体作業については、定期的な受注があり 38 万 5 千円の売り上げとなった。
- ・発泡スチロールのテープ留め作業については、コロナ禍の影響を受け、11 月以降の入荷はなかった。

④製袋班

- ・年間売上額は、約 490 万円（前年度比：約 72%）月平均では 40.8 万円となり、目標達成率は 62.8%だった。新型コロナウイルスの感染拡大により、首都圏の経済活動が停滞し、シモジマからの発注量が大幅に減少した。

(5) 利用者支援

① 作業支援

a 印刷班

- ・利用者の作業工程の時間短縮のため、ネットワーク上に共有システムを設置。データの受け渡し時にUSBメモリを使用していた分のタイムロスを削減することができた。
- ・一件だけではあるが、動画案件を手掛けた。主としてデータの集約とダビング対応の作業ではあったが、現状の設備・ノウハウで十分対応可能。今後、専門的な部分を習得すれば編集も含めた作業に拡大できる可能性が高い。

イ 販売班

- ・ベテルコーヒーのドリップバッグ商品化に向けて着手した。
- ・就労系3施設が連携した商品開発に向け、ベテルコーヒーゼリー、カフェラテゼリーの試作を行なった。

ウ 軽作業班

- ・年度途中に利用者2名が退所し、その他1名が長期欠席となり、既存作業に対応することが困難な状況があった。その中でも、利用者が複数の作業ができるように支援を行ない、特に小型家電等の解体作業に関しては新たに利用者2名が対応できるようになった。また、3月には内職作業を斡旋する企業への見学を行ない、作業科目の見直しについて検討を行なった。

エ 製袋班

- ・利用者が複数の作業をできることを目標とし、利用者1名が保証書入れ、袋綴じ、計量作業の一連の工程ができるようになった。

②行事・集会開催状況

| 月 | 日 | 内 容 | 月 | 日 | 内 容 |
|----|----|-----------|----|----|--------------|
| 4 | 10 | 花見食事会 | 12 | 28 | 慰労会 |
| 8 | 5 | ベテル納涼祭 | 1 | 4 | 利用者新年会（お祝い膳） |
| 11 | 11 | ベテルバーベキュー | | | |

(6) 健康管理

①年間報告

| 月 | 日 | 項 目 | 内 容 |
|---|----|-----------|----------|
| 4 | 23 | 血圧・体重測定 | |
| 5 | 21 | 血圧・体重測定 | |
| 6 | 18 | 血圧・体重測定 | |
| | 26 | 利用者採血 | 利用者 |
| 7 | 16 | 血圧・体重測定 | |
| 8 | 7 | 胸部レントゲン撮影 | レントゲン車 |
| | 20 | 血圧・体重測定 | |
| | 31 | 前期健康診断 | 嘱託医（利用者） |

| | | | |
|----|----|---------|----------|
| 9 | 17 | 血圧・体重測定 | |
| 10 | 21 | 血圧・体重測定 | |
| 11 | 19 | 血圧・体重測定 | |
| 12 | 2 | 後期健康診断 | 嘱託医（利用者） |
| | 17 | 血圧・体重測定 | |
| 1 | 28 | 血圧・体重測定 | |
| 2 | 18 | 血圧・体重測定 | |
| 3 | 18 | 血圧・体重測定 | |

※ 9月・10月・11月・12月・1月 生活習慣病予防検診実施（35歳以上の職員）

（7）日中一時支援事業

・利用者なし。

2. エステル〔就労継続支援事業B型事業・生活介護事業〕

(1) 概要

多機能事業所として3年が経過し、生活介護事業、就労支援B型事業共に職員の協力体制が構築され、利用者支援に反映することができた。また、利用者の高齢化に伴う重度化が進む中、多機能事業所として生活介護と就労継続B型を併用するなど、相談支援事業所ぶどうの木と相談し進めることができた。

就労継続B型事業では、体調不良等による長期の欠席や精神不安による長期に入院した利用者が2名。また、利用者1名が死亡、入院等により退所者が2名あり、年間の利用率が下がってしまった。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 支援機関 | 入所日 | 性別 | 支援機関 |
|------|----|------|-----|----|------|
| 7月8日 | 男性 | 三鷹市 | なし | | |
| 3月5日 | 男性 | 渋谷区 | | | |

(3) 重点目標に対する取り組み

①就労継続支援事業B型

平均工賃13,000円を目指す

- ・作業収入はコロナの関係で軽作業については昨年度を大きく下回った。しかし工賃については、昨年度より月々の工賃が増えたことで、平均工賃13,753円と目標を達成する事ができた。
- ・生産活動売上と平均工賃

| 生産活動内容 | 令和2年度実績 | 令和元年度実績 | 前年比 |
|----------|-----------|------------|------------|
| 公園清掃 | 990,000 | 993,600 | -3,600 |
| クリーニング事業 | 5,649,500 | 5,632,500 | 17,000 |
| パン工房事業 | 2,232,150 | 2,434,100 | -201,950 |
| 軽作業事業 | 897,568 | 2,371,970 | -1,474,402 |
| 合計 | 9,769,218 | 11,432,170 | -1,662,952 |
| 平均工賃(月額) | 13,753 | 13,946 | -193 |

(単位：円)

②生活介護事業

ア 活動内容を充実させる。

日課は、午前は運動、午後は創作・レクリエーションを継続した。コロナウイルスの影響で外出や外部のボランティアの受け入れがほとんどできない状況だったが、レクリエーションを毎月企画した。生産活動でマリーゴールドとパンジーを育苗。利用者に水やりや園内へのお届けを行なっていただいた。他事業所の短期入所を利

用する方については、相談支援事業所ぶどうの木と連携を取りあった。

(4) 利用者支援

①就労継続支援事業B型

[生産活動支援]

パン事業では昨年同様、週3日の営業で、収入面は下がってしまった。また、課題であった収支のバランスを改善する事はできずマイナス計上となってしまった。しかし来年度に向け就労3施設で協力し商品開発に取り組んだ。外部販売についてもコロナ禍のため実施できなかった。軽作業についても昨年末から流行したコロナウイルス感染の影響で、取引している企業からの作業が減り減収となった。その他、公園清掃事業とクリーニング事業については昨年同様であった。また興奮し作業が困難になってしまった利用者や作業を拒否する利用者に対し、落ち着いて作業ができるよう、毎日の声掛けを継続的に行ったり、席替え、衝立等で落ち着いて作業できる環境作りを行なった。

[生活支援]

ア 利用者対応

生活習慣の乱れや着衣の乱等ある利用者に対し改善が図れるよう、声かけ等の支援を行ってきたが改善には至らなかった。

レクリエーションとして、日帰り旅行、会食会、夏・冬の外出等はコロナ感染症予防の関係で全て中止し、施設内で楽しめる行事を充実させ実施した。

イ 通所支援

通所支援として、1日4便の送迎便を運行。利用者の状況に合わせルートや席順を変更しつつ送迎した。

ウ 保健衛生支援

保健衛生支援として、毎月の体重血圧測定、年2回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種や胸部レントゲン撮影を実施した。冬季は感染症予防のため加湿器設置、毎日の検温及び手洗いうがいの徹底を図った。また、コロナウイルスの流行に伴い、検温のほか登園・外出時に手指消毒及び空間除菌器を導入した。

エ 給食支援

給食支援として嗜好調査を行ない、可能な範囲で希望のメニューを取り入れた。また、選択メニューを月2回実施した。外部委託業者（グリーンヘルスケアサービス）と共に、毎月会議を行ない、検食での指摘事項について検討した。

オ 家庭との連携

家庭との連携として、連絡帳を毎朝確認し、特記がある場合は、朝礼で職員に周知すると共に、家庭へ電話での連絡を行ない情報の共有化を図った。

グループホーム・ケアホーム利用者については、サービス管理責任者や世話人と連携を密にとった。また、エステルだよりは毎月発刊した。

②生活介護事業

ア 利用者対応

日課は、午前は運動、午後は創作活動やレクリエーションを継続した。但し、利用者の状況にあわせて午後も運動するなどした。入浴は女性利用者2名を毎週対応した。また、短期入所利用の際も入浴を実施した。

イ 機能訓練・運動

個々の身体状況に合った運動メニューやグループホームでの入浴方法などを理学療法士と検討した。

ウ 創作的活動

コロナウイルスの影響で前橋七夕まつり等が中止となり、外部への作品の出展は行なえなかったが、玄関やダイルームの入口に作品を展示した。

エ 生産活動

ビニールハウスでの花の育苗を実施した。

オ 生活相談及び援助

送迎時やサービス担当者会議等を通じ、家族との情報交換を密接にした。利用者の状態を細かく観察し変化に対応した。

カ 行事・社会活動支援

コロナウイルスの影響で外出はほとんどできなかったが、館内でのレクリエーションを毎月実施した。

③年間行事報告

| 月 | 日 | 内 容 |
|---|----|------------------|
| 4 | 1 | 辞令交付式 |
| | 10 | お花見（船尾自然公園、赤城方面） |
| 6 | 17 | 地域サービスデー |

| | | |
|----|----|-------------------------------|
| | 18 | 採血 |
| | 24 | レクリエーション（焼きまんじゅうの会） |
| 7 | 29 | 春の健康診断（聴打診） |
| 8 | 7 | 胸部レントゲン撮影 |
| 9 | 19 | 夏季レクリエーション（ピザ作り） |
| 10 | 23 | 秋季レクリエーション（リンゴ狩り、サツマイモ掘り、BBQ） |
| 11 | 27 | レクリエーション（お好み焼き） |
| 12 | 9 | 会食会（施設内） |
| 2 | 13 | 冬季レクリエーション（ブリ解体ショー・海鮮丼） |
| | 18 | 防災避難訓練（消防署立会い） |
| 3 | 16 | レクリエーション（お寿司の日） |

（5）建物設備整備等実施状況

| 実施月 | 内 容 |
|-----|----------------------------------|
| 4 | 害虫駆除 |
| 5 | 消防設備点検、消火器点検、電気設備点検 |
| 7 | 電気設備点検 |
| 9 | スプリンクラー点検、電気設備点検 |
| 10 | 浄化槽 11 条検査、害虫駆除 |
| 11 | 消防設備点検、消火器点検、電気設備点検 |
| 12 | 消防署の立ち入り検査 |
| 1 | 電気設備点検、害虫駆除、外灯 3 カ所設置 |
| 2 | スプリンクラー点検 |
| 3 | 電気設備点検、消防設備点検（防火対象物検査） ワックス掛け |

（6）日中一時支援

利用実績なし

3. シャローム [就労継続支援B型事業]

(1) 概要

新型コロナウイルス感染拡大を受け、4月27日から5月6日まで通所自粛の対応をとったが、在宅で作業等が行なえる利用者については、作業を行なう上でのポイントを記載した書類を配布し、自宅学習ができる支援を行なった。

生産活動では、新型コロナウイルスの影響で野菜の出荷が大幅に減少し売上目標を達成できず、平均工賃も前年度を下回った。

(2) 年間退所・入所状況

| 入所日 | 性別 | 支援機関 | 退所日 | 性別 | 支援機関 |
|-------|----|------|-------|----|------|
| 7月1日 | 男性 | 前橋市 | 3月31日 | 男性 | 渋川市 |
| 10月8日 | 男性 | 渋川市 | | | |

(3) 重点目標に対する取り組み

①生産活動収入9,000,000円、月額平均工賃26,000円を目指す

- ・台風等天候の影響を受けることもなくりんご、野菜ともに順調に栽培できた。しかしながら新型コロナウイルスの影響で葉ねぎの出荷が全くなく、前年度の売上を下回った。
- ・平成元年度の収支実績を踏まえて、平均工賃を26,000円に設定。全体の生産活動収入は約8,200,000円となり、月額平均工賃は25,712円と目標を達成できなかった。
- ・生産活動売上と平均工賃

| 生産活動内容 | 令和2年度実績 | 令和元年度実績 | 前年比 |
|----------|-----------|------------|-------|
| りんご | 5,233,184 | 6,024,636 | 86.8% |
| 野菜 | 2,356,762 | 4,102,355 | 57.4% |
| 加工品 | 360,750 | 418,150 | 86.2% |
| 清掃委託 | 252,000 | 252,000 | 100% |
| 合計 | 8,202,696 | 10,797,141 | 76.0% |
| 平均工賃(月額) | 25,712 | 26,180 | 98.2% |

②天候に左右されない生産活動を検討する

- ・会議等を行ない、ビニールハウスでの生産やしいたげ栽培について検討したが、実行には至らなかった。

③就労系3施設がそれぞれ抱える課題を挙げ、3事業所で連携を図りながら課題に取り組んでいくとともに、今後に向けた展望について検討する。

- ・就労系3施設共通の課題を整理し、施設収支の改善に向けて事業所の統合案について

シミュレーションを行なったが、思うような収入にならず見送った。作業面においては、3施設の特徴を生かした商品展開について検討し、新商品を試作中である。

(4) 利用者支援

① 生産活動支援

- ・朝礼、終礼また各作業現場等で注意を呼びかけ、大きな事故や怪我等を防止することができた。またヒヤリハットや苦情等を職員会議等で検証し、再発防止を図った。
- ・利用者個々の能力・適正を見極め、作業内容・作業配置を固定化することで、作業の効率化を図り、生産性を高めることができた。

② 就労への移行に向けた支援・就労の機会の提供

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため地域のイベント等が軒並み中止となり販売に立ち会う機会を設けることができなかった。

③ 生活支援・相談及び援助

- ・社会人として相応しい生活習慣や態度を身につけてもらうため、家庭やグループホームにも声掛けをしてもらうなどの協力を依頼した。衛生面では、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、手洗いの励行、マスク着用について意識の向上が見られた。

④ 食事

- ・嗜好調査や希望献立を可能な限り取り入れて、バラエティーに富んだ給食を提供した。
- ・季節ごとに新たなメニューを考案し取り入れることができ、利用者の楽しみが増えた。
- ・年齢、体格、労働量などを考慮し献立表を作成した。高齢の方の食事は、小さく切って提供したり、肥満対策としてご家族と協力してご飯の量を減らすなどの対応を取った。食事指導については、個別に面談を行ない、一部の利用者に改善が見られた。
- ・食事の準備及び片付け、食事時のマナーについては、その都度声掛け等の支援を行ない、改善の兆しが見られ始めた。

⑤ 健康管理

- ・毎月の体重測定、年2回の血圧測定、尿検査を行なうとともに、嘱託医による定期健康診断を実施し、疾病の予防、早期発見に努め、家庭やグループホームと連携して支援を行なった。

⑥ 行事・社会活動支援

- ・予定していた地域のイベント等での販売はすべて中止であった。

⑦年間行事報告

| 月 | 日 | 内 容 | 月 | 日 | 内 容 |
|----|----|---------|---|---|-----|
| 4 | 9 | お花見 | 1 | 4 | 新年会 |
| 12 | 24 | クリスマス祝会 | | | |

(5) 建物設備等実施状況

- ・区画整理のため借用していたりんご園の土地の一部を返却。使用していたSSについては老朽化が激しく処分した。

4. マイーム〔共同生活援助事業・共同生活介護事業〕

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症の関係で体験利用の受け入れを一時休止したため、欠員を補充するまでに半年間以上掛かってしまった。また、クロスホームのスプリンクラー配管が凍結で破裂してしまい、修理が終わるまでの約1カ月間、利用者が若杉寮客間で生活をした。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 支援機関 | 入所日 | 性別 | 支援機関 |
|------|----|------|-------|----|------|
| 7月8日 | 男性 | 三鷹市 | 7月1日 | 男性 | 前橋市 |
| | | | 10月9日 | 男性 | 渋川市 |

(3) 重点目標に対する取り組み

①自然災害に備えた準備をする。

- ・各ホームに準備してある非常持ち出し袋の中身を確認し、保存期間が過ぎた食料の入れ替えを行なった。
- ・各ホームで利用者にかセットコンロの使用法の説明と使用の実践を行なった。また、バルナバホーム、さくらホーム、クロスホームで備蓄食を使用した調理訓練を利用者が行なった。

②災害にあわせた避難計画（避難先など）を決定する。

- ・土砂災害警戒レベル3が市町村から発令された時の各ホーム利用者の避難先と対応する職員を決めた。

(4) 利用者支援

①生活支援

- ・居室の整理ができない利用者に対して、定期的に部屋の掃除と整理を行なった。
- ・機能の低下がみられる利用者に対して、生活介護事業所の理学療法士と相談しながら機能訓練を行なった。

②健康管理

- ・各施設の定期健康診断で異常が見られた利用者に対して、通院を行なうなど健康管理に努めた。
- ・体調不良を訴える利用者に対して早めの通院対応を行ない、悪化させないように努めた。

(5) 特記事項

①バルナバホーム

- ・ボイラー室のトタン屋根の張替えを行なった。
- ・建物の老朽化に伴い、引っ越し先の検討を行なった。

②さくらホーム

- ・ガス湯沸し器の入れ替えを行なった。
- ・浴室シャワー混合栓の交換を行なった。

③ダビデホーム

- ・玄関戸、居室戸、床のメンテナンスを予定していたが、実施に至っていない。

④クロスホーム

- ・スプリンクラーの配管が凍結で破裂したためスプリンクラーの配管交換、内装改修、自動火災通報装置の交換を行なった。また、漏電防止でブレーカーを落としていたためエコキュート給湯器の配管が破裂したため修理を行なった。その関係で約1カ月間、利用者が若杉寮客間で生活した。
- ・玄関戸、居室戸、床のメンテナンスを予定していたが、実施に至っていない。
- ・雨樋の清掃を行なった。

(6) 年間行事報告

| 月 | 日 | 内 容 |
|----|----|------------------------------|
| 6 | 17 | 夜間想定避難訓練 (バルナバホーム) |
| 9 | 8 | 夜間想定避難訓練・非常食調理訓練 (さくらホーム) |
| | 15 | 夜間想定避難訓練 (クロスホーム) |
| 10 | 8 | 夜間想定避難訓練・非常食調理訓練 (ダビデホーム) |
| 11 | 23 | 非常食調理訓練 (クロスホーム) |
| 12 | 20 | 非常食調理訓練 (バルナバホーム) |

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため外出支援は行なわなかった。

第5章 相談支援事業

1. ぶどうの木

(1) 概要

在宅利用者のサービス利用について、新型コロナウイルス感染拡大の影響が随所に見られた。短期入所等の受け入れを中止した事業所が多く、利用の調整が困難な場合には、代替りのサービスを調整した。また、感染拡大防止のためご本人やご家族と直接面会することをせず、サービス担当者会議、サービス利用状況の確認等は電話にて対応した。

在宅利用者について、ご家族の高齢化や利用者の重度化のため、短期入所等のサービスの調整等を行なうケースや将来の生活の場についての相談が、昨年度よりも11件増えた。今年度は、短期入所等緊急時のための準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、体験利用等ができず準備が進まないケースもあった。

地域移行について、精神科病院で長期入院されている方1名がグループホームへ移行することができた。

65歳を迎える方、特定疾病の方等介護保険サービスへ引き継ぐ方がおり、昨年度と同様の頻度で、ケアマネージャーや地域包括支援センターと連携する機会があった。

精神科病院、市町村、職員の知人からの相談が新規で4件あった。各関係機関と連携しながら対応した。

(2) 契約状況

| 全契約者数 | 新規契約者数 | 契約終了者数 | サービス等利用計画作成数 | モニタリング作成数 |
|-------|--------|--------|--------------|-----------|
| 250名 | 4名 | 6名 | 127件 | 416件 |

(3) 重点目標に対する取り組み

① 指定一般相談支援事業

入所利用者等の地域移行及び在宅利用者の地域生活が定着するよう進める。

- ・入所利用者について、入所時に一人暮らしや就労の希望があったが、入所施設での生活が安定すると地域移行の意欲が低下し、定期的に情報提供や体験利用を勧めたが地域移行には至らなかった。
- ・長期で精神科病院へ入院していた法人外利用者1名について、昨年度から見学や体験利用を重ね、地域移行することができた。
- ・単身で生活をされている法人外利用者3名に対して、居宅介護サービス等を中心に調整し地域生活が定着した。
- ・在宅利用者について、緊急時に利用する短期入所等のサービスについて説明し利用準備を進めた。

②指定特定相談支援事業

来年度以降の児童の計画相談支援実施に向け準備を進める。

- ・計画の作成方法、児童のサービスの種類、渋川広域にある地域資源を群馬県の資料等使い確認した。
- ・コロナ禍により、サービス提供事業所の見学や児童の計画相談を実施している相談支援事業所から、実際の事例について学ぶことができなかった。

(4) 業務計画に対する取り組み

- ・短期入所、移動支援、共同生活援助、通院介助、居宅介護（家事援助、身体介護）、日中一時支援等の希望があり、事業所の情報提供を行なった。
- ・在宅生活が継続できるようサービスの調整等を行なった。将来の生活を考え、必要なサービスの説明や緊急時にも利用できるよう短期入所等の体験利用を進めた。
- ・毎月の職員会議や週1回の定例の打ち合わせで、進捗状況や困難事例の検討を行なった。
- ・地域資源の確認や困難事例の相談等について、なんでも相談室、渋川広域の他の相談支援事業所、渋川市地域包括ケア課に確認した。
- ・相談支援部会、発達障害者支援者研修会、依存症回復支援者研修会、自閉症カンファレンス NIPPON2020、精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修へ参加し、制度やサービスについての理解を深め、計画に反映させた。
- ・成年後見制度について、希望されたご家族へ情報提供した。その他、2名の在宅利用者の利用申請の手伝いを行なった。
- ・地域定着支援で一時滞在場所として使用する若杉寮104号室の内装改修工事を実施。
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を活用し、感染予防のため空気清浄機等の衛生品の購入。感染拡大防止のため一時滞在場所（若杉寮104号室）の壁、床を抗菌のものに改修。感染拡大時の事業継続のためモバイルパソコン等のICT機器を購入した。

第6章 高齢者施設

1. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕

(1) 概要

建築工事や開所準備、人材確保が遅れてしまい年度内の開所はできなかったが、増床に向けてベッドや車椅子、厨房機器、テーブルや椅子、医務用品等備品をそろえ環境整備を行なった。

コロナ禍ということもあり面会を制限してしまっていたため、手紙や写真で状況報告を行なった。また、オンライン面会を導入し、画面越しではあるが利用者のご家族とが直接会話ができるように進めた。

(2) 年間退所・入所状況

| 入所日 | 性別 | 保険者 | 退所日 | 性別 | 保険者 |
|--------|----|-----|--------|----|------|
| 7月30日 | 男性 | 前橋市 | 5月1日 | 女性 | 東吾妻町 |
| 8月5日 | 女性 | 渋川市 | 8月17日 | 男性 | 渋川市 |
| 8月21日 | 女性 | 渋川市 | 8月19日 | 女性 | 渋川市 |
| 8月27日 | 女性 | 渋川市 | 10月14日 | 男性 | 渋川市 |
| 9月19日 | 男性 | 渋川市 | 10月15日 | 男性 | 渋川市 |
| 10月22日 | 女性 | 渋川市 | 10月26日 | 男性 | 渋川市 |
| 10月27日 | 男性 | 前橋市 | 12月4日 | 女性 | 渋川市 |
| 12月24日 | 女性 | 横浜市 | 1月8日 | 女性 | 渋川市 |
| 2月8日 | 女性 | 渋川市 | 2月22日 | 男性 | 渋川市 |
| 3月9日 | 男性 | 吉岡町 | 3月18日 | 男性 | 渋川市 |
| 3月20日 | 女性 | 渋川市 | | | |
| 3月23日 | 男性 | 渋川市 | | | |

(3) 重点目標に対する取り組み

①新しい環境に不安を感じさせないような安定した支援

- ・増床に向け、ベッドや車椅子、介護ロボット等備品をそろえ環境整備を行なった。
- ・食事の記録方法、移乗方法等の見直しを行ない、新たな食事記録方法を取り入れた。

②利用者の生活空間の拡大と地域貢献

- ・コロナ禍ということで、地域住民との関りを持つことはできなかった。
- ・面会全面禁止という制限から、画面越しに面会ができるオンライン面会を導入した。

(4) 利用者支援

①介護

ア 生活支援

- ・利用者、家族、他職種で話し合いながら、個々に即した支援を実施した。
- ・ケアプランに則した記録を意図的に残す取り組みを継続中。
- ・インカム導入により、フロア内での職員の連絡等がスムーズに行なわれるようになった。

イ 虐待・身体拘束

- ・委員会は月1回開催した。
- ・5月、3月に虐待防止、8月と11月に身体拘束廃止の現任研修を実施した。
- ・身体拘束は0件であった。

ウ 事故防止

- ・委員会を月1回開催した。
- ・6月と1月に現任研修を実施した。今後も年2回の研修を継続する。

エ 看取り

- ・2月に現任研修を実施した。
- ・施設内での1件の看取りを行なった。

オ 余暇活動（創作・文化活動含む）

- ・春を楽しむ会（花見）、夏祭り、秋を楽しむ会（創作活動）、敬老の日、クリスマス、正月、節分（豆まき）、ひな祭りなど装飾や季節行事を行なった。
- ・高齢者施設合同の夏祭りは、コロナ禍のため3施設日程をずらして行なった。

カ 生活環境

- ・利用者の安全を留意した居室レイアウトを造り上げた。
- ・共有部分に、創作作品や季節の飾り、絵手紙作品、書を装飾した。

キ 防災

| 実施日 | 内容 |
|-------|--------------|
| 7月29日 | 日中火災想定訓練（合同） |
| 2月24日 | 夜間火災想定訓練（合同） |

②食事

ア 季節食

- ・昼食選択メニューを月に1回取り入れ、利用者の好みを聞きつつ食事提供。またお

やつ選択メニューを実施し、利用者自身で好きなものを選んでもらえるようにした。
おやつ選択に関しては、入浴日以外を中心に月に2回程度実施している。

- ・嗜好調査、入所時と6月に全員対象で実施。また利用者状況も日々変わるので、何か問題があればその都度利用者や職員より声掛けがあり改善につとめた。
- ・一昨年度からの継続で全国各地の郷土料理を取り入れた。馴染みやすいものを中心に、主菜や副菜について各都道府県の献立を少しずつ盛り込んだ。季節に合わせた食材を使用して対応した。

イ 食形態

- ・栄養ケア計画を中心に、入所されている全員の方への栄養ケアマネジメントを実施。日々の変化や利用者状況を見て、その時々合った食事形態を担当職員、他職種と相談しつつ行なった。毎月末日付けで、栄養ケア計画の経過記録を実施した。

ウ 食環境

- ・音楽の好みの違い、食事中のテレビの視聴について等を考慮しながら環境を検討した。
- ・食席については安全面と機能面を留意した。入院や転倒等で状態変化が見られる利用者が多かったため、その都度担当職員中心に検討を行なった。

エ その他

- ・年々原材料費が高騰しているため、利用者に喜ばれるものを予算範囲内で提供するために、手作りのものを中心に既製品を取り入れる等工夫をした。
- ・外出や行事が大幅に削減されたため、施設内でも楽しめるように利用者の好きな焼きまんじゅうやお好み焼きを取り入れたおやつレクを実施した。
- ・委託業者と連携を取り合いながら、感染症対策を重点的に行なった。
- ・増床後の対応に向けて厨房機器や食器を購入した。食器や食具等は一部変更して購入。今までの利用者状況を考えて、利用者自身が使いやすいものを検討した。
- ・食事を含めた行事を実施した。感染症対策のため、利用者と職員とは食事場所を分けて提供した。
- ・ご家族等との直接の面会が出来なくなり楽しみが減ってしまう中で、リクエスト献立や新聞の折り込みチラシに掲載されている食事を取り入れ、献立がマンネリ化しないよう工夫した。
- ・日々の状態変化を見逃さないよう、状態観察とともに記録を確認し早めの対応を行なった。

| | | | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| エネルギー (kcal) | 1,562 | 1,568 | 1,569 | 1,563 | 1,559 | 1,570 |
| たんぱく質 (g) | 59.9 | 59.6 | 58.4 | 59.9 | 59 | 59.8 |
| 脂質 (g) | 35.2 | 34.2 | 35.6 | 35.3 | 34.6 | 35.2 |
| 塩分 (g) | 8.8 | 8.6 | 8.7 | 8.7 | 8.7 | 8.7 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| エネルギー (kcal) | 1,578 | 1,594 | 1,587 | 1,593 | 1,587 | 1,573 |
| たんぱく質 (g) | 60.5 | 60.1 | 59.1 | 60.6 | 60.4 | 59.5 |
| 脂質 (g) | 35 | 36.4 | 35.7 | 36 | 34.9 | 35.6 |
| 塩分 (g) | 8.8 | 8.8 | 8.9 | 8.9 | 8.7 | 8.7 |

③医療・リハビリ

・各月状況

| | |
|------|-------------------------------|
| 6月 | 深夜業従事職員健康診断（職員） 胸部X-P（利用者） |
| 9～1月 | 生活習慣病予防検診（職員） |
| 10月 | インフルエンザ予防接種実施（利用者、職員） |
| 1月 | 35歳未満職員健康診断（職員） |

・通院状況（延べ人数）

| 内科 | 外科 | 歯科 | 眼科 | 皮膚科 | 精神科 | 泌尿器科 | 呼吸器科 | 脳外科 | 整形外科 | 循環器科 | 婦人科 | 合計 |
|----|----|----|----|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|
| 36 | 5 | 1 | 0 | 10 | 15 | 166 | 0 | 3 | 17 | 1 | 0 | 254 |

（令和元年度 183名）

・施設内治療状況（延べ件数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 668 | 936 | 808 | 786 | 675 | 743 | 565 | 439 | 719 | 803 | 851 | 1053 | 9,046 |

（令和元年 6,924名）

・医師診察状況（延べ人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 72 | 90 | 84 | 85 | 60 | 86 | 104 | 80 | 77 | 82 | 79 | 86 | 985 |

（令和元年度 1,015名）

・入院状況

| 氏名 | 病名 | 期間 | 病院名 |
|-----|-------|-----------|------|
| M.K | 左尿管結石 | 3/30～4/27 | 北毛病院 |
| E.F | 胃瘻造設 | 6/3～8/27 | 北毛病院 |

| | | | |
|-----|---------|---------------|----------|
| H.T | 全身多発性癌 | 6/9～7/30 | 北関東循環器病院 |
| T.T | 尿路感染症 | 7/20～7/25 | 有馬クリニック |
| K.I | 肺炎 | 8/9～9/4 | 北毛病院 |
| K.I | 胆のう炎 | 8/19～9/3 | 渋川医療センター |
| U.T | 誤嚥性肺炎 | 8/29～10/21 | 渋川医療センター |
| K.I | 誤嚥性肺炎 | 10/19～11/9 | 北毛病院 |
| K.I | 多臓器不全 | 10/26～10/27 | 有馬クリニック |
| K.S | 心不全 | 11/26～12/28 | 北毛病院 |
| H.S | 吐血疑い | 12/6～12/9 | 渋川医療センター |
| M.K | 肺炎 | 12/7～12/21 | 北毛病院 |
| K.O | 高血糖 | 12/10～R3/1/19 | 北毛病院 |
| K.I | 肝腫瘍疑い | 12/12～12/22 | 北毛病院 |
| Y.M | 突発性腸管壊死 | 12/22～12/24 | 北毛病院 |
| T.K | コロナ疑い | 12/24～R3/2/8 | 利根中央病院 |
| K.I | 胆管炎 | 12/27～R3/3/23 | 北毛病院 |
| K.Y | 心不全 | R3/1/15～2/9 | 北毛病院 |
| K.O | 大腸炎悪化 | R3/1/22～3/20 | 北毛病院 |
| K.Y | 心不全・肺炎 | R3/3/19～4/8 | 北毛病院 |

合計 20 件 (令和元年度 26 件)

・訪問歯科状況 (延べ件数)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 2 | 0 | 9 | 18 | 17 | 12 | 25 | 15 | 21 | 31 | 40 | 34 | 224 |

(令和元年度 209 名)

④その他

- ・コロナ禍のため、家族懇談会は実施できなかった。4月と1月に写真と手紙にて家族に近況報告を行なった。
- ・ZOOMを利用してオンライン面会を導入した。(118件)

⑤年間行事報告

| 月 | 日 | 内容 |
|----|-------|------------|
| 4 | 15 | 春を楽しむ会 |
| 8 | 24～30 | 高齢者施設合同夏祭り |
| 9 | 21 | 敬老の日 |
| | 26 | 敬老会 |
| 12 | 16 | 忘年会 |
| | 24 | クリスマス集会 |
| 1 | 4 | 新年会 |

| | | |
|---|----|---------|
| | 17 | 書初め |
| 2 | 7 | 節分（豆まき） |
| 3 | 3 | ひな祭り |

（５）建物設備状況

| 月 | 日 | 内容 |
|----|-------|----------------|
| 4 | 14 | 浄化槽 11 条検査 |
| | 22 | 受変電設備工事 |
| | 23～25 | 理髪室入り口扉工事 |
| 5 | 18 | 消防設備点検 |
| 7 | 30 | 消防設備点検 |
| 9 | 10 | 大型乾燥機修理 |
| | 20 | 浄化槽水中ポンプ 1 台交換 |
| 10 | 30 | 増床建物引き渡し |
| 11 | 19 | 消防設備点検 |
| 12 | 23 | 機械浴ストレッチャー修理 |
| 1 | 20 | エレベーター点検 |
| 2 | 18 | 厨房水漏れ修理 |
| 3 | 17 | 増床部床清掃 |

- ・増床のために必要な備品、随時納品された。
- ・増床のための電気工事、電話工事を随時行なった。

（６）短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、4月21日から5月末日、1月10日から3月末日の期間は一部利用受け入れを停止した。長期間になると思われる停止期間を自宅で介護が困難な方3名は、ロングショートステイとして自宅には帰らず継続の利用となった。
- ・複数のサービスを利用している方が多いため、関係事業所から利用状況等の情報収集を行なった。

②利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 延べ人数 | 22 | 0 | 25 | 31 | 33 | 34 | 50 | 46 | 48 | 16 | 3 | 3 |
| 利用率(%) | 63.3 | 0 | 52.6 | 74.8 | 74.1 | 70.0 | 87.0 | 99.3 | 90.9 | 68.3 | 60.0 | 60.0 |

平均利用率：66.6%
（令和元年度 79.8%）

2. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型共同生活援助〕

(1) 概要

認知症ケアを行なう中で、身体機能の衰えや認知症の進行により、入居者の重度かが進んでいる。2020年5月に男性入居者1名、12月に女性利用者1名の看取り介護を実施した。現在女性入居者1名の看取り介護を実施中ではあるが、日々の観察をはじめ医療との連携も図り、服薬の変更や生活リハビリを中心としたケアを取り入れたことにより身体機能の改善が図れ、現在状態は安定している。また、加齢に伴い持病の悪化など体調不良で緊急通院や入院が増えていたため、些細な変化も見逃さないよう日々の記録の徹底を行なった。職員間での情報の共有をはじめ、家族、医療との連携を強化している。

(2) 年間退所・入所状況

| 退所日 | 性別 | 保険者 | 入所日 | 性別 | 保険者 |
|--------|----|-----|-------|----|-----|
| 5月1日 | 男性 | 渋川市 | 6月12日 | 女性 | 渋川市 |
| 12月28日 | 女性 | 渋川市 | 1月27日 | 女性 | 渋川市 |

(3) 重点目標に対する取り組み

①認知症の進行や加齢に伴う身体的変化に応じた、利用者の健康管理・安全管理に心がける。

- ・過去のデータを基に一人ひとりの平均バイタル値を表出し、既存のバイタルチェック表に添付したことにより異常の早期発見に繋がり速やかに訪問看護と連携を図ることができた。

②認知症状の緩和

- ・認知症ケアの向上を目的として毎月職員会議を活用し内部研修（現任研修）を実施した。

(4) 利用者支援

①活動

ア 生活支援

- ・調理後の盛り付けや、食器拭き、洗濯物畳などの生活全般を主体的に参加できるよう促した。また四季折々の行事の際にはその時期にあった装飾品を皆で手作りし飾り付けを行なった。
- ・コロナウイルス感染症拡大に伴い、面会を自粛したが、ご家族へ生活の様子が分かるよう近況報告に写真を添え郵送した。

イ 創作・文化活動

- ・農園で夏野菜や長ネギ、じゃがいも、さつま芋を育て利用者と一緒に収穫を行なっ

た。収穫した野菜については、クッキングクラブで使用したり、献立に反映し提供した。

- ・塗り絵や切り絵、絵手紙作成、手芸や書道を実施した。できあがった作品は館内のギャラリーに掲示した。

ウ 地域活動

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、地域で実施しているサロンへの参加は行なえていない。また、高齢者施設が中心となり介護予防の取組として、地域の回覧板を利用し筋力アップについてのリーフレットを作成し情報提供を行なった。
- ・運営推進会議を5回（6、10、12、2、3月）、身体拘束廃止委員会についても併せて実施した。5月に運営推進会議を予定していたが緊急事態宣言が発令されたことにより渋川市より自粛要請があり中止とした。

②食事

- ・各利用者の健康状態や身体状態を踏まえた上で、医療との連携を図り、疾病に対する知識や調理方法を医師及び管理栄養士から指導を受け疾患に応じた調理方法を学び食事を提供した。
- ・主食の量や形態の調整を行ない一日の食事、水分摂取量の記録をした。摂取状態に問題がある場合はその都度、訪問看護へ状況を報告し指示を仰いだ。

③医療

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により面会を中止。また、群馬県高齢者入居者職員の発熱状況を群馬県へ毎日報告した。
- ・手洗い、うがいの徹底をはじめ、県内や渋川市内の感染症状況についての最新情報を訪問看護師等から得て、面会や外出を制限するなどの対応を行なった。
- ・各居室の温度・湿度管理をしたことにより、インフルエンザやノロウイルス等の感染者は出なかった。
- ・一日3回のバイタル測定や月初めの体重測定など健康状態の把握に努めた。
- ・医師と連携し利用者の栄養について血液検査（年に2回）を実施していただき、利用者の栄養値（アルブミン値）を確認。栄養状態をスクリーニングした。

④住環境整備

- ・厚生労働省の「介護サービス事業所・施設等における感染症対策支援事業」を活用して各居室及び食堂に空気洗浄機、飛沫対策としてアクリルボード、ビニールカーテン、フェイスシールドを整備した。
- ・加齢に伴い歩行に課題のある入居者の居室に手摺りの設置やドア戸っ手交換等の整備を行ない、転倒予防に努めた。

⑤年間行事報告

| 月 | 日 | 内容 | 月 | 日 | 内容 |
|----|----|-------------|----|----|------------|
| 4 | 15 | 花見 | 12 | 16 | クリスマス会食会 |
| 7 | 15 | 防災訓練（日中想定） | 12 | 25 | クリスマス集会 |
| 8 | 25 | 胸部レントゲン | 1 | 1 | 新年会 |
| 9 | 21 | 敬老会会食会 | 2 | 8 | 防災訓練（夜間想定） |
| 10 | 19 | 秋を味わう会 | 3 | 29 | 防災訓練（地震想定） |
| 11 | 2 | インフルエンザ予防接種 | | | |

※10月23日に外部評価を予定していたが、コロナウイルス感染症拡大により、渋川市より実施についての自粛要請があったことから中止。

(5) 建物設備整備

- ・消防設備点検（5月、11月）結果：異常なし
- ・浄化槽汚泥引き抜き（9月）
- ・スプリンクラー点検結果：9月 異常なし
：2月 水圧計異常とのことで交換実施

3. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕

(1) 概要

5月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、利用者の方々やその家族に、利用の自粛をお願いした。11月には利用率が70%を超えたが、入院や施設入所などが続き、3月には60%台まで落ち込んだ。感染予防のために換気・消毒を徹底したり、テーブルや空気清浄機を新規購入したりするなどの取り組みを行なった。また利用者の方々にデイサービスで楽しく落ち着いて過ごしていただけるよう、レクリエーションや日課について職員間で検討した。

(2) 重点目標

①利用率の向上

- ・担当者会議や電話連絡の機会を利用し、居宅支援事業所のケアマネージャーにゆうかりの宣伝を行なった。また利用者の状況について記録に残すことで、情報を職員間で共有し、家族やケアマネージャーと連絡を取り合うことで、利用日数を増やしていただけるように働きかけた。

②日課を検討する

- ・コロナ禍の中での取り組みについて職員会議で話し合い、三密にならないようなレクリエーションや、映画上映会などを実施した。また毎月テーマを決めて、壁飾りの創作を行なった。またインターネットを使って塗り絵や脳トレをダウンロードし、利用者の方々に取り組んでいただいた。

(3) 利用者支援

①介護

- ・担当ケアマネージャーのケアプランに基づき通所介護計画書を作成した。全職員が通所介護計画書の内容を理解し、支援の方向性を統一できるように努めた。また、介護方法の変更などについては、その都度、ご家族やケアマネージャーに確認をして進めた。

②食事

- ・利用者や家族、ケアマネージャーに聞き取りをして管理栄養士と連携し、個々の嗜好にできるだけ合わせられるようにした。また、季節食や行事食も提供して利用者に季節感や食べる楽しみを味わっていただいた。

③医務・リハビリ

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、職員の入勤前の検温や体調チェック、手

洗い、うがいを行なった。

- ・利用者や家族に対し、送迎前の検温をお願いした。また通所時にバイタルを確認し、利用者の健康管理に努めた。発熱などの不調が見られた場合には、家族に連絡をするなどの対応をとった。
- ・月1回の理学療法士が来園時に機能訓練のアドバイスをいただく。それらを参考にして、日常のレクリエーションの中にも集団体操などを取り入れて利用者の機能維持に努めた。

(4) 年間行事報告

| 開催月日 | 内 容 |
|------------|----------------|
| 8月24日～29日 | 夏祭り |
| 10月26日～31日 | 紅葉ドライブ |
| 11月4日 | ゆうかり運動会 |
| 12月24日 | クリスマス集会（オンライン） |

(5) 年間利用状況

| 月 | 開所日 | 登録人数 | 実利用人員数 | 延利用人員数 | 稼働率 |
|----|-----|------|--------|--------|-----|
| 4 | 26 | 32 | 29 | 273 | 52% |
| 5 | 26 | 35 | 29 | 275 | 53% |
| 6 | 26 | 34 | 29 | 325 | 58% |
| 7 | 27 | 33 | 28 | 324 | 60% |
| 8 | 26 | 33 | 29 | 340 | 65% |
| 9 | 26 | 33 | 29 | 339 | 65% |
| 10 | 27 | 33 | 29 | 370 | 68% |
| 11 | 25 | 33 | 29 | 353 | 70% |
| 12 | 26 | 33 | 29 | 340 | 65% |
| 1 | 24 | 32 | 27 | 291 | 60% |
| 2 | 24 | 31 | 26 | 300 | 62% |
| 3 | 27 | 31 | 25 | 315 | 58% |
| 合計 | 310 | 393 | 309 | 3845 | |
| 平均 | | 32 | 25 | 320 | 61% |

※令和2年12月31日（水）～令和3年1月3日（日）年末年始休業日。

開館時間 9:30～16:30（7～8時間）

1日の平均利用人数 11.7人（1日の利用定員 通常規模20名）

第7章 公益事業

1. ポパイ〔福祉用具貸与・販売事業〕

(1) 概要

貸与事業は、コロナ禍のため直接営業する機会は減ったが、前期は利用者数が 58 名（昨年度から 9 名増える）、後期は入院やご逝去が続き 3 月には 49 名となり目標契約者数を達成できなかった。しかし、貸与・販売ともに売り上げは伸び、年間目標 700 万円を達成した。

(2) 重点目標に対する取り組み

①（介護予防）福祉用具貸与事業

ア 年間売り上げ目標 700 万円を達成できるようにする。

- ・取引のある居宅支援事業所より挨拶や連絡をとることにより、利用者を紹介していただき、新規獲得することができた。徐々に利用者数は増えてきたが、後期は入院やご逝去が続き利用者が激減した。前期の利用者数が伸びたため目標売上高 700 万円を達成することができた。

イ 契約獲得者数 70 件にする。

- ・3 月時点で契約者数 49 件となった。

②（特定）福祉用具販売事業

ア 年間売上目標 700 万円を達成できるようにする。

- ・市内の施設から販売依頼が多くなり売り上げが多くなってきた。
- ・障害者の給付事業の販売依頼もあり、売り上げも大きかった。
- ・新型コロナウイルスの影響が大きく感染症対策商品等の欠品が続き販売に影響が出たが、目標を達成することができた。

(3) 年間売上実績

| 売上高 | 貸与事業 | 販売事業 | 売上総利益 | 貸与事業 | 販売事業 |
|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 令和 2 年度 | 7,912 | 7,815 | 令和 2 年度 | 3,856 | 1,200 |
| 令和元年度 | 5,735 | 5,060 | 令和元年度 | 2,363 | 1,100 |
| 差 額 | 2,177 | 2,755 | 差 額 | 1,493 | 100 |

単位／千円

2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕

(1) 概要

開所3年目に入り、複数職員体制を視野に入れながら事業展開を図った。コロナ禍により様々な制約の中での業務遂行であったが、関連事業所との関係を継続することで、新たな関係者からの利用者紹介もあった。少しずつだが事業所の認知を高めることができた。

(2) 重点目標に対する取り組み

①事業所運営の安定を図る

- ・複数職員体制の準備のため担当件数を増やしていたが、増加に伴いきめ細かいケアマネジメントが困難になった。紹介者の関係を切らすことなく、件数を少しずつ調整して、今後の体制の準備に努めた。

②複雑、困難なケアマネジメントに対応する

- ・業務に余裕がなくなり、相談があってもコンスタントに時間かけて介入することができなかった。

③将来を見据えた新しいサービスを検討する

- ・緊急ショートステイや移動支援など、必要と思われる保険外サービスがいくつか見えてきた。今後は、できるものから少しずつ進めたい。

(3) 担当利用者数推移

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 要介護 | 53 | 53 | 52 | 53 | 54 | 51 | 48 | 47 | 47 | 42 | 42 | 43 |
| 要支援 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 |

※累計契約利用者数 114件（令和3年3月末現在）

第8章 収益事業

1. オリーブ

(1) 概要

売り上げは目標額よりも約 230 万円少なく達成率は 93.2%であった。さらに一部主力商品の仕入価格が新型コロナウイルスの影響により大幅に値上がりし支出が増大したことで法人への繰り入れ額は目標よりも 150 万円少ない 100 万円となった。

(2) 重点目標に対する取り組み

①収入 3,500 万円、収支差額 250 万円を達成する

- ・売り上げ増につながる新しい事業・サービスについて具体的な取り組みに至らなかった。
- ・売り上げの目標額に対する達成率は約 93.2%であり、法人への繰り入れは 100 万円と達成率は 40%であった。

(3) 年間売上実績（前年度比）

単位：千円

| | 売上高 | 法人への繰り入れ |
|-------|--------|----------|
| 令和2年度 | 32,622 | 1,000 |
| 令和元年度 | 30,562 | 1,500 |
| 差 額 | 2,060 | -500 |

